

第六十五回  
帝國議會  
貴族院

# 臨時米穀移入調節法案特別委員會議事速記録第一號

付託議案

臨時米穀移入調節法案

政府所有米穀特別處理法案

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

委員氏名

- |      |          |
|------|----------|
| 委員長  | 子爵青木 信光君 |
| 副委員長 | 男爵稻田 昌植君 |
|      | 侯爵大隈 信常君 |
|      | 侯爵中御門經恭君 |
|      | 伯爵有馬 頼寧君 |
|      | 子爵片桐 貞央君 |
|      | 子爵綾小路 護君 |
|      | 三井清一郎君   |
|      | 内田 重成君   |
|      | 上山滿之進君   |
|      | 伊澤多喜男君   |
|      | 男爵福原 俊丸君 |
|      | 男爵淺田 良逸君 |
|      | 赤池 濃君    |
|      | 長岡隆一郎君   |
|      | 藤山 雷太君   |
|      | 松本 眞平君   |
|      | 絲原武太郎君   |

昭和九年三月二十三日(金曜日)午後一時  
五十九分開會

○委員長(子爵青木信光君) ソレデハ是ヨリ開會ヲ致シマス、此法案ニ付キマシテハ先刻本會議議デ大臣ヨリ説明ガアリマシタノデスガ、尙ホ一應御説明ヲ願ヒマセウカ、サモナクバ、直グサマ御質問ノ方ニ移リマセウカ

○伊澤多喜男君 一應御説明ヲ願ヒマセウ

○委員長(子爵青木信光君) 是ハ東ネテ御説明ヲ願ヒマシテ、尙ホ又御審議具合ニ依リマシテハ、此法案ノ順序ニ御審議願ツタラ宜カラウト思ヒマス、ソレデハ御説明ヲ願ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君) 臨時米穀移入調節法案、米穀需給調節特別會計法中改正法律案、政府所有米穀特別處理法案、ト云フ順序デ御説明ヲ申上ゲマス、昭和九米穀年度即チ昨年ノ十一月カラ始マリマシテ、今年ノ十月末日ニ至リマス此一年ノ間ニ於キマシテ、此年度ガ受入レマス米穀ノ生産高ハ内地ガ約七千八十餘萬石、朝鮮ハ約千八百十九萬石デアリマシテ、例年ニ比シテ著シキ增收ヲ示シテ居ルノデアリマス、其外

昭和八米穀年度カラノ持越米ガ約九百萬石ヲ算シテ居リマス、從テ内地ニ於ケル米穀ノ需給關係ハ著シイ供給過剩ノ状態ヲ呈シテ居ルノデアリマシテ、斯ノ如キ供給過剩ノ状態カラ需給ノ均衡ノ採レマシタ状態ニ致シマスルコトハ、ナカク急ニハ參り兼ネルノデアリマス、政府ニ於キマシテモ、之ニ善處スル爲ニ、米穀統制法ノ運用ノ外ニ粃貯藏ノ獎勵等ノ施設ヲモ致シテ居ル次第デアリマスガ、内地市場ニ多量ノ朝鮮米又ハ臺灣米ガ移入セラレテ參リマシテ、此供給過剩ノ状態ニ對シテ一層ノ壓迫ヲ致ス事情ガアリマスルノデ、朝鮮米及臺灣米ノ内地移入ノ數量ヲ調節スルコトガ今日ノ米穀事情ニ照シテ肝要ノコトト存ゼラレルノデアリマス、サウシテ右移入數量調節ハ臨時應急ノ對策ト致シマシテ、玆ニ朝鮮米及臺灣米ヲ政府ニ於テ買入ヲ行フコトト致シマシテ、在來ノ季節調節ト云フ方法ノ上ニ、更ニ稍、長キニ互タ朝鮮米ノ調節ヲ行ヒ得ル途ヲ此際開カムトスルノデアリマシテ、臨時米穀移入調節法案ヲ提出イタシタ譯デアリマス、此法案ノ要旨ハ、第一ガ政府ハ米穀統制法ノ規定ニ依リマシテ、朝鮮米及

臺灣米ノ内地移入ヲ月別平均的ナラシムル爲ニ、出廻期ニ於テ買入ヲ行ヒ、出廻期後ニ於テ右買入米穀ノ賣渡ヲ行ヒ、所謂季節的出廻數量ノ調節ヲ行ツテ居ルノデアリマスケレドモ、是ハ單ニ季節的ノ調節ニ止マルノデアリマシテ、現在ノ如ク米穀ノ斯様ニ過剩ノ際ニ於キマシテハ調節上甚ダ遺憾ノ點ガアリマスルケレドモ、更ニ應急ノ處置ト致シマシテ昭和九年三月三十一日、即チ昭和九會計年度ノ終リ迄、内地移入ノ米穀ノ數量ヲ調節スル爲ニ朝鮮米及ビ臺灣米ノ調節買入ヲ行ヒ得ルコトト致シタノデアリマス、而モ只今申上ゲマシタル如ク本案ハ臨時應急ノ施設デアリマシテ朝鮮米及ビ臺灣米ノ對策ニ付キマシテハ尙ホ研究ノ上成案ヲ得ルコトニ努メタイト考ヘテ居ルノデアリマス、第二ニ右ノ制度ニ依ッテ買入ルベキ朝鮮米及ビ臺灣米ノ價格ハ勅令ヲ以テ定ムル一定ノ價格ヲ最高價格トシテ、其時々ノ時價ニ準據シテ之ヲ定ムル見込デアリマス、第三ニ勅令ノ定ムル所ニ依ッテ第一條ニ依ッテ買入レタル米穀ノ賣渡、貯藏及ビ加工ヲナスコトヲ得ルモノト致シマシテ、其賣渡ノ價格ハ時價ニ準據ヲシテ之ヲ定ムルコトト致シタ

ノデアリマス、第四ニ本法ニ依ッテ政府ノナス行爲ニ依ッテ生ズル一切ノ歳入歳出ハ總テ米穀需給調節特別會計ニ屬セシムルコトニ致シタノデアリマス、是ガ臨時米穀移入調節法案ノ要旨デゴザイマス、次ニ米穀需給調節特別會計法中改正法律案ノ要旨ヲ御説明申上ゲマス、只今申上ゲマシタ臨時米穀移入調節法ヲ施行イタシ、及ビ現行ノ米穀統制法ヲ運用イタシマスル爲ニ米穀需給調節特別會計ノ專業資金ヲ増額スルノ必要ガアルノデアリマスノデ、同會計法ノ米穀證券及借入金ノ額ヲ通ズル最高金額ノ限度ハ七億圓デアリマスルガ、之ニ一億五千萬圓ヲ加ヘマシテ八億五千萬圓ニ改メタイト思フノデアリマス、尙ホ更ニ年ノ豊凶ハ何人モ的確ニ之ヲ豫想スルコトガ困難デアリマスルガ、萬一異常ナル豊年ヲ迎フル等ノコトガアリマスレバ、右ノ八億五千萬圓ノ金額ヲ以テシテハ或ハ專業資金ニ不足ヲ告グルコトナキヲ期セナイノデアリマス、從テ最近遭遇イタシマシタ昭和八年度ノ如キ増産ト云フモノヲ考慮ノ中ニ入レマスト云フト、右專業資金ノ額ヲ更ニ最高三億圓ノ範圍内ニ於テ必要ナル限度ダケ勅令ヲ以テ増額シ得ルコトニ豫メ御協賛ヲ得テ斯卡ル場合ニ備ヘタイト考ヘルノデアリマス、尙

ホ政府ノ米穀買入數量等ハ作柄ナドニ依リマシテ相違ヲ來スノデアリマスカラ、此特別會計ノ專業費ノ豫算ハ大體ノ普通ノ場合ヲ豫想シテ計上シテ置キマスルガ、米穀ノ數量又ハ市價ノ變動等ノ爲ニ買入數量ノ増加其他避クベカラザル豫算ノ不足ヲ生ジマスル場合ニ處スル爲ニ專業費豫算ニ豫備費ノ設定ヲ致スコトニ改メタイト思フノデアリマス、右三點ガ米穀需給調節特別會計法中改正法律案ノ要旨デゴザイマス、次ニ米穀特別處理法案ノコトデゴザイマス、本法案モ今日ノ米穀ノ供給過剩ノ狀態ヲ考ヘマシテ、米ノ新規利用ニ關スル試驗研究及新規用途開拓ノ爲ニ米穀需給調節特別會計ニ屬スル米穀ヲ處分スル途ヲ開イテ米ノ消費ニ新方面ヲ開拓センコトヲ期待イタスノデアリマス、但シ右ノ處分ニ依リマシテ米穀ノ市價ニ惡影響ヲ與ヘルコトハ妥當デナイト考ヘラレマスノデ、其ヤウナ場合ヲ避クルコトト致シ、且ツ此處分ノ慎重ヲ期スル爲ニ、米穀處理委員會ヲ設ケテ米穀處分ニ關スル重要事項ハ之ニ諮問スルコトニ致シタノデアリマス、尙ホ此法案ニ依リマシテ政府ノ爲ス行爲ニ依リ生ズル一切ノ歳入歳出ハ總テ米穀需給調節特別會計ニ屬セシムルコトト致シタ次第デアリマス、以上三案

ノ大體ノ趣旨デゴザイマス、何卒御審議ノ上ニ御協賛アラムコトヲ希望イタシマス  
○長岡隆一郎君 議事進行ニ付テ簡單ニ發言ヲ御許シテ願ヒタイ、本案ノ議事ヲ進メマスル前ニ議事進行ニ付テ委員長竝ニ政府委員各位ニ御聽キラ願ッテ置キタイト思ヒマス、簡單ナコトガアル、私ハ何カ此三案ニ對シテ反對ヲ致シ、握リ潰シテ計畫シテ居ルト云フヤウナ風評ガゴザイマスルガ、決シテ左様ナ譯デハゴザイマセヌ、出來ルナラバ圓滿ニ議事ヲ進メテ、本員ノ質疑ガ、水解イタシマスルナラバ、折角衆議院ヲ滿場一致ニ近キ多數ヲ以テ通過シタ案デゴザイマスルガ故ニ、本員モ出來ルナラバ贊成イタシタイト考ヘテ居ルノデアリマシタガ、何分本案ハ本期議會ニ提出セラレマシタ重大法案中ノ重大法案デゴザイマスルガ故ニ、十分ノ審議ヲ致サレテ頂キタイト考ヘルノデゴザイマス、本案ノ性質カラ願ミマシテモ、全國ノ農民ノ利害休戚ニ關スルコト重大、消費者ノ利害關係ニ影響スル所重大、又朝鮮臺灣新附ノ民ノ利害休戚ニ關スルコト重大デアアルノミナラズ、既ニ只今迄二億數千萬ノ損害ヲ國庫ニ掛ケマシタ米穀特別會計ニ對シテ、更ニ四億五千萬圓ト云フ巨額ノ費用ヲ追加シヤウト云フモノ

デアリマスルガ故ニ、是ハ餘程慎重ニ審議シナケレバナラスト考ヘマス、然ルニ會期餘ス所僅ニ明日明後日、若シ之ヲ研究モセズ慎重ニ審議ヲ盡サズ、輕卒ニ之ヲ鵜呑ミニスルト云フコトガゴザイマシタナラバ、國民ハ貴族院ガ慎重審議ノ任務ヲ盡シタモノト信ズルカドウカ、又國民ハ議會ノ信用頗ル増加シタリト思フヤ否ヤ、勿論委員長ニ於キマシテ故意ニ議事ヲ遷延セシムル目的ヲ以テ質問シ發言スル者ニ對シテハ、適當ノ御處置ヲ爲サルコトガ當然デゴザイマシケレドモ、其然ラザルモノニ對シテハ貴族院ノ先例ニ徵シ、十分審議ヲ盡サシテ頂キタイト云フコトヲ希望イタシマス、若シ萬萬一多數ヲ以テ質問ヲ打切り、咄嗟ノ間ニ會期盡キルニ垂トシテ居ル際ニ之ヲ採決サレルト云フヤウナコトガアリマシタナラバ、他日之ニ關シ重大ナル責任問題ヲ惹起スト云フコトヲ私ハ豫言シテ置キマス、世間デハ此六十五議會ニ於テ議案ノ審査ノ遲々タルコトニ付テ、其遷延セルコトニ對シテ、政府竝ニ議會共ニ責アリト言ッテ居リマスガ、是ハ議會ニ責任アリト信ジマセヌ、勿論從來ノ政府ト雖モ重大法案ニ付テ提出ヲ遲ラシタト云フ例ハ澤山アルノデゴザイマスルケレドモ、現内閣ノ如ク重大法



フ御話デアリマシタ、誠ニ此法案ハ重大法案デモアリマスルノデ、私共モ同様ナ考ヲ

有ツテ居ル者デゴザイマス、併ナガラ會期ガ如何ニモ切迫ヲ致シテ居リマスルノデ成ル

ベク之ヲ普通ノ意味合カラシテノ質疑應答ヲ重ネマスル以上、到底是ハモウ現在ノ限

ラレタル會期ニ於テハ、質疑應答ノ結了モ困難デアルト云フコトハ、誠ニ明カデア

ルト思フノデアリマス、勿論會期ヲ延長スルト云フコトニナリマスレバ、是ハモウ議論

モナイノデアリマスルケレドモ、先ヅ只今ノ所ニ於テハ、會期延長ナイモノト見マシ

テ考ヘマスル場合ニ於テハ、到底是ハ審議ノ時間ヲ持タナイ、斯様ニ考ヘマス、就

キマシテハ私ハ丁度衆議院ニ於テ質疑應答ガ大分重ネラレテ、只今長岡サンノ御話ノ

ヤウニ、十數日ニ互ツテ質疑應答ヲ重ネラレタノデアリマスルカラ、此質疑應答ニ付テ

ノ最重要ナル點ヲ國務大臣若クハ政府委員ニ於テ整理ヲシテ、重要ナリト思フ問題

ニ付キマシテ、質疑應答ノ始マル前、若クハ或ハ明日ノ委員會ノ最初ニ於テナリ、適

當ナル整理ヲシテ、質疑應答ノ點ヲ要領ダケヲ御説明ニナツタラバ、大變議事進行ノ上

都合宜クアルマイカト、斯様ニ考ヘマスノデ、其點ニ付テ然ルベク委員長ニ於テ御取

計ヒテ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(子爵青木信光君) 承知シマシタ

○上山滿之進君 私ハ本會議ノ續キヲ質問

イタシタイト思ヒマス

○委員長(子爵青木信光君) 今長岡君カラ

ノ御希望ノ書類ハ、當局ノ方カラ參考ニ御

出シニナリマスカ……長岡君ノハ當局ノ方

カラ參考書類ヲ御廻シ致シマス、ソレカラ

松本君ノハ御希望デアリマスカラ、承ツテ置

キマス、上山君ドウゾ……

○上山滿之進君 私人質問ニ入ル前ニ御願

ヒシテ置キタイノデアリマスガ、只今才出

デニナリマシタカラ宜シウゴザイマスケレ

ドモ、成ルベク拓務省ノ方、朝鮮臺灣ノ方

ガ此委員會ノ席ニ出席サレコトヲ希望イ

タシマス、大變ニ問題ガ朝鮮臺灣ニ關係ガ

深イノデアリマスカラ、御聽キニナツテ居ル

コトガ御便宜デアラウト思ヒマスシ、又

私共ノ方デモ大變仕合デアリマスカラ、其

コトヲ豫テ御願ヒシテ置キマス

○委員長(子爵青木信光君) 拓務省ノ方ニ

御願ヒシテ置キマス、成ルケケ臺灣朝鮮ノ

關係ノ政府委員ノ御出席ヲ願ヒタイト思ヒ

マス、ソレカラ御質問ハ只今順序デナク三

案關聯シテ居リマスカラ、之ヲ三案東ネテ

一ツ御審議ヲ願ヒ、御質問モ全部ニ付テ御

質問下サレテ宜カラウト存ジマス

○上山滿之進君 私ハ先刻本會議デ第一問

トシテ質問ヲ致シマシタ、詰リ本年度ノ持

越米ノ問題デアリマス、此持越米ガ非常ニ

多イト云フノト、ソレダケテナイト云フコ

トガ、此法案ヲ審議スルノニ根本ヲ爲スモ

ノト思フノデアリマス、ソレデ此點ニ付テ

質問ヲ致シタイト思ヒマス、計數ニ關係ヲ

致シマスカラ、必シモ農林大臣ヲ煩サウト

ハ思ヒマセヌノデ、御都合デ政府委員ノ諸

君ガ御話シ下ステモ、誠ニ満足イタシマ

ス、第一ニ昭和九年度ノ米ノ産額、即チ昨

年ノ秋作ノ高、是ガ七千八百四十萬石ト云フ

コトニナツテ居リマス、此額ガ私ハ四百八十

萬石、四百五十萬石バカリ多イト云フコト

ヲ申シタノデアリマス、本會議デ申シマシ

タケレドモ、今一應其理由ヲ茲ニ申シマス

ガ、年々ノ第二回豫想收穫額、之ニ對シテ

其年ノ實收額ガ、過去ノ統計ニ依レバ多ク

ナツタノモ少クナツタノモアリマスケレド

モ、一番多イノハ確カ百五十七萬石ト云フ

モノガ多クナツテ居ルノガアリマス、ケレド

モ普通ハ大變少イノデアリマス、其中デー

昨年ハ二十一萬、二十二萬石バカリ、一昨

々年ハ十九萬石バカリ、斯ウ云フ數ニナツテ

居リマス、所ガ突然トシテ昨年ハ是ガ四百

八十八萬石ト云フモノガ殖エテ居リマス、

是ハドウシテモ斯ウ云フコトハ眞實トハ考

ヘラレヌノデアリマス、其出ツテ來ル所ハ恰

モ昨年ノ實收額調査ノ時初メテ此調査方法

ヲ變ヘマシテ、是ハ無論政府ノ印刷物ニモ

アリマスシ、政府デ御否定ニナル筈ハナイ

ノデアリマスカラ、其調査方法ヲ變ヘタノ

ハドウ云フ風ニ變ヘタカト言ヒマス、是

迄ハ或少數ノ人間ガ大體見込デ調べテ、此

位アルドラウ、此位出來ルドラウト云フコ

トヲ調べル、所ガ今度ノ昨年ノ調査方法ニ

依リマス、實地ニ付テ調べタ、調査委員

ヲ澤山増シマシテ、サウシテ實地ニ付テ、

實際米ノアル所ニ付テ調べタト云フノデア

リマス、ソレデ是ハ無論サウ云フ風ニ嚴密

ニ調べマスト數量ノ増加スルト云フコトハ

當リ前ナンデス、其嚴密ニ調査シタ爲ニ數

量ガ殖エタト云フコト以外ニハ、四百八十

八萬石ノ増加ト云フモノガ説明ガ出來ヌノ

デアリマス、サウ致シマス先ヅ四百五十

萬石殖エタ、詰リ形式上殖エタ、實際ニ増

收ガアッタノヂヤナイ、過去ニ於テハ隠レテ

居ツタ、調査ガ不十分ダツタカラ隠レテ居

タ、今度ハ調査ガ嚴重ニナツタカラ本當ニ頭

ヲ出シテ來タ、詰リ是迄隠レテ居ツタモノガ

表面ニ現レタ其額ガ先ヅ四百五十萬石ト

見ナケレバ、昨年ノ收穫豫想高ト實收高トノ開キガ何ントシテモ説明ガ出來ヌノデアリマス、若シ私ノ言フ通りデアルトスレバ、昨年ノ收穫高ハ六百萬石殖エテ居ル、詰リ一昨年ガ六千三百九十九萬石デアリマスカラ、先ヅ六百六十萬石ニ昨年ハナツタ、斯ウ云フ風ニ見エルノデアリマス、六百六十萬石ト云フ數字ハ如何ニモ是ハ大キナ數字デアリマシテ、無論昨年ガ從來ニ比ベテ豐作デアッタト云フコトハ疑ハレヌ、併シ全ク例ガ無イカト言ヒマス、昭和六年ハ六千六百八十七萬石ト云フコトガ出テ居リマス、此外ニハナイヤウデアリマスガ、兎モ角モドチラニシテモ一ツ例ガアツタトシテ、二ツトハ過去ニ於テハ例ガナイノデ、豐作デアッタト云フコトハ争ヘマセヌケレドモ、七千萬石ト云フモノト六千六百萬石ト云フノハ大變ナ開キニナツテ來ル、一割ノ開キニナリマス、此點ヲ明カニシタイト思ヒマス、政府デハ先刻御説明モアリマシタガ、兎モ角モ數字ガ七千八十萬石ト出タカラ、此數字ニ依リヨリ外ニ途ガナイノダ、減ツタト云フコトハ言ヘナイト仰ツシヤル、是ハ一應御尤デ、政府ガ例ヘバ此米穀要覽ヲ作り、事務的ニ今ノ數字ヲ主張サレト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ヌコトデアリマスケレドモ、

併シ事務的ノ問題ヲ離レテ常識的ニ、又ハ政治的ト云フト大キイデスケレドモ、常識的ニ考ヘテ、四百五十萬石カ、或ハ四百萬石カ、五百萬石カソレハ分リマセヌケレドモ、或程度ノ誤差ヲ認メテ、サウシテ數百萬石殖エタ、昨年ノ實收ハ調査方法ノ變更ニ依ツテ數百萬石殖エタラウト云フコトヲ御認メニナラナケレバナラスト斯ウ思フノデアリマスガ、其點ヲ第一ニ伺ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君) 私カラ最初御答シマシテ、尙ホ補充スルコトガアリマスレバ政府委員カラ御答ヲ致サセマス、調査方法ノ變更ノ爲ニ、調査方法ガ元ノ儘デアッタナラバ出タデアラウ數字ヨリハ殖エタデアラウト云フ推測ヲサレト云フコトニ付テハ御同感デアリマス、併ナガラ其調査方法ノ變更ノ爲メノ實收高ノ増加ノ數字ガ何程デアアルカト云フコトハ、全ク其判斷ヲ致シ兼ネルノデアリマス、殊ニ昨年ノ豐作具合ト云フモノガ各地ノ實地調査ニ依ツテ見マシテモ、又試驗場ナドノ調査ニ依ツテ見マシテモ、餘程ヒドイノデアリマシテ、從テ若シ出來具合ト云フ極ク常識的ノ觀察ガ例年ト同ジ位デアッタト云フ時ニ例年ヨリモ違ツタ數字ガ出來タト云フノデアリマスレバ、マア凡ソ其位ノ調査方法變更ノ爲ノ

増加デアラウト云フ推測ガ割合ニシ易イノデアリマスケレドモ、今回ノ實收ノ調査ハ方法ノ變更ノ爲ト、昨年ノ作柄ノ非常ニ良カッタ爲メト増加ラドンナ具合ニ見テ居ルト云フコトハ判斷ヲシ兼ネルノデアリマス、殊ニ調査方法ノ變更ガ多少増額ヲ示シタデアラウトハ考ヘラレマスルガ、唯一回ノ實績デアリマシテ、此調査方法ノ變更ガ今後數回繰返ヘサレルコトニ依ツテ、前ノ調査方法ノ時代ト、或基礎數字ノ同ジ所ヲ取りマシテ、サウシテ同ジヤウナ増加ヲ示サウナ實績デモ出テ參リマスレバ、的確ニサウ云フコトガ判斷ガ出來マスデス、的確ニ行カナクテモ凡ソ何百萬石カ方法變更ノ増加デアラウト云フヤウナコトガ申サレマスケレドモ、ドウモ調査方法ヲ變ヘタダケデ、而モソレハ一回變ヘタダケデアリマシテ、而モ非常ニ常識的ニ見テモ、大豐作ト見ラレル時ニ遭遇シテノ現ハレタ數字デアリマスカラ、我ミガ現實ニ政策ヲ考ヘマスル上ニ、安全ナ數字ヲ基礎ニ致サウトシマスレバ、矢張り實收高トシテ現實ニ現ハレタ數字ヲ以テスルコトガ此際ニハ一番穩當デアリナカラウカ、斯ウ實ハ考ヘテ居ル譯デアリマス、尙ホ政府委員カラ補充スルコトガアレバ……

○上山滿之進君 是ダケ調査方法ノ變更ニ依ツテ殖エタダラウト云フコトノ正確ナ數字ヲ伺ヒタイト云フコトハ無理ナンデスカラ、ソレハ私ハ申シマセヌガ、唯大體ニ於テ數百萬石殖エタト云フコトハ、御認メ下サツテ何シモ不都合ハナイト思フノデアリマス、又サウ御認メニナラナケレバ、何故ニ第二回豫想ニ對シテ、四百八十八萬石殖エタカト云フコトハ、是ハ其方ノ説明ヲ伺ハヌトドウシテモ分ラヌノデアリマス、是ハ試驗場等ノ報告ニ依ルノデアリマセウガ、ソレハドウ云フ報告ガアツタカ分リマセヌガ、ドウモ理解シ兼ネル、サウシテ古今未曾有ノ大豐作ト云フコトヲ先ニ決メテ掛カリマス、又一應豫想ガ立チマスケレドモ、是ハ七千八十四萬石ト云フモノガ出タカラ古今未曾有ノ大豐作ト仰シヤルデアラウト思フガ、現ニ昭和六年ノ如キハ六千六百八十七萬石、之モ古今未曾有ノ大豐作ト見ナケレバナラヌ、昭和六年ダツタノデスカ、兎モ角四百八十萬石ト云フ大キナ數字ニハ無論ナツテ居ナイ……分リマシタ、先キノハ昭和六年度、今ノ申シマシタノハ、昭和六年、昭和六年ニ於テ百五十七萬石殖エテ居リマス、其次ハソレダケノ豐作デアリノデアリマスガ、ソレデモ一昨年ノ數字ハ

六千萬石ト上ガツテ居リマスガ、ソレガ第二回豫想ニ對シテ二十一萬六千石ト云フコトニナル、然ルニ四百八十八萬石ト云フト餘リ突飛ナ數字、其突飛ナ數字ノ起ツテ來タ原因ト云フモノハ、ドウシテモ今ノ調査方法ノ變更ニ依ルトヨリ外考ヘラレナイ、色ミナコトヲ申シマスレバソレハマア色ミナ原因ガアルト思ヒマスガ、斯ウ云フ大キナ數字ガ出ルノハ原因ハ外ニハナイ、數回アツタト仰セニナリマスケレドモ、是ハ何回ヤツテモ同じコトデアアル、詰リ豫想ト云フモノニ對スル實收ハ年々多少ハ違ヒマス、サウシテ收穫豫想ト云フモノヲ御變ヘニナラヌト云フコトデアレバ、サウシテ産額ノ實收調査ト云フモノヲ今ノ儘デ御進メニナルトスレバ、或ハ此通りノ數字ハ、四百八十八萬石ト云フ數字ガ今後出テ來ヤシナイカ、ソレデハ何時デモ第二回豫想ニ對シテ收穫實收額ト云フモノガ四百何十萬石モ違フ、是ハ又餘リニ亂暴ナコトデ有ルベカラザルコトニナル、過去ニ於テハ、大體ニ於テ第一回第二回、ソレカラ實收豫想、此實收豫想ナルモノガ年ニ依ツテ違ヒマスケレドモ、矢張り大體ハ足並ヲ揃ヘテ行ツテ居ル目標トスル調査ノ品物ガ同じ場所ニ於ケル同ジモノデアリマスカラ大體動クベキ筈ガナイ、ソレデドウモ四百八

十八萬石ト云フモノガ殖ヘタト云フコトハ調査方法ノ變更ニ依ルヨリ外ニ仕方ガナイト思フ、サウスルトドウシテモ七千何百萬石ト云フ増加ハ誤ツタ數字トハ申シマセヌ、正シイ數字デアリマセヌケレドモ、過去ニ於テ現レナカッタモノガ、今度現ハレテ來タ、今度ノ方ガ是正シタ、過去ヲ是正シタノデスケレドモ、過去ノ數年間ニ比ベテ豐作デアアル、豐作デアアルト云フコトヲ論ズルノニハ役ニ立タヌ數字ニナルト思ヒマス、ソレニ對シテ何か御考ヘハアリマセヌカ伺ヒタイ

○國務大臣(後藤文夫君) チョットソレニ

對シテ御答申シタイト思ヒマス、ドウモ論ジマス物ノ觀方ノ相違ニ歸着スルカ知レマセヌガ、モウ少シチョット申上ゲテ見タイト思ヒマス、私共ハ矢張リ是カラ一年位ノ間ノ政策ヲ考ヘマス時ニ、大體七千萬石ト云フ増産ノ數字ヲ抑ヘテカカルコトガ適當デアアルト思ツテ居リマス、是カラ差引ヲ餘リセナイ方ガ實際成績ガ宜イト實ハ信ジテ居リマス、ソレハ今一回ノ豫想ト或ハ二回ノ豫想……第一回二回ノ豫想ノ場合ガ色ミ違ツテ來マスガ、豊凶ナドノ具合ニ依ツテ、兎ニ角豫想ト實收高トノ相違ガ、上山サンノ御推測デハ調査方法ノ變更ノ爲ニ四百萬石相違ノ數字ガ出タノデハナイカト云フ風

ニ仰シヤイマシタガ、豐作ノ年ニハ御承知ノ通りニドウモ實收高ガ豫想ヨリ多クナルコトガ屢、アルノデアリマス、殊ニ其豐作ノ程度ノ激シイ時ニ矢張り殊ニ多クナルト云フ傾キガアリマス、前ノ例ニ依リマシテモ、昭和五年ニ百五十萬石デアリマシタカ、矢張り第二回ノ豫想ヨリモ實收ガ多クタクヤウナ事例ガアリマス、百四五十萬石乃至二百萬石ト云フ相違ガ出テ居ル例ハアリマス、是ハ豐作ノ時ニ出勝ナノデアリマス、サウ云フ過去ノ例ヲ鑑ミマシタナラバ、四百四五十萬石ノ増加ノ中半分位ハ矢張り實收現在高ノ調査方法ヲ變ヘズトモ出タカトモ知レヌト想像サレマス、サウスルトアトノ残りガ調査方法ノ變化カラ來タモノト一應推測サレルカ知レマセヌガ、今年ノ豐作ノ具合ハ過去ノ豐作ヨリモ更ニ激シイヤ作ノ具合ハ過去ノ豐作ヨリモ更ニ激シイヤウデアリマス、サウシマストマダノ前ノ通りノ調べ方ヲシタトシテ見マシテモ、豫想ヨリ實收高ガ、今私ガ申シタヨリモ多クタクカモ知レヌト思ヒマス、ソレカラ實際調査ニ當リマシテハ可ナリ嚴重ニ今度調べル方法ガ變ツタコトニ依ツテ調べタノデアリマスケレドモ、ナカノ此調べト云フモノハ如何ニ方法ヲ變ヘテ正確ニシマシタカラト云ツテ必ズ實數通りニ出テ來ルトハマダノ

○上山滿之進君 私ハドウモ腑ニ落チマセ

ヌガ、ソレハ金ヲ用意スル方カラ言ヘバ成ル可ク多ク……成ル可クデヤアリマセヌガ、多ク見積ツテ、サウシテソレニ應ズルノ金ヲ取ツテ置クト云フコトガ安全デアアルコトハ是ハモウ確カデアリマス、併シ一方金ヲ出ス方カラ云ヒマス、サウ云フ大事ナ計數ガ違フ、又私ハ其違フ方ガ正シイト思フノデスガ、多大ナ計數ガ違フ、政府デモ尙ホ考究ヲ要スルカニ仰セニナル、ソナモノヲ目標ニシテ金ヲ出ス、大變ナ金ヲ出スト云フコトハ餘程考ヘモノデヤアリマセヌカ、是ハ若シ豫算デモ取ルト云フコトニナルト、蓋シサウ云フコトニ農林省ハ御調

ベニナラヌダラウト思フ、豫算ヲ取ルト云フコトニナルト、現實ニ其年ノ歲計ガ幾ラニナルト云フンダカラ、唯是ハ殆ド法律一本出セバ事業資金ヲ殖ヤスコトハ出來ル、其金ハ外カラ借リテ置クト云フノゾ、即チ金ヲ出スノニハ都合ノ好イ氣樂ナ金ノ出シ方デアル、將來國民ノ負擔ニ非常ニ大キナ負擔ニナルト云フコトハ勿論デスケレドモ、當面ノ問題トシテハ誠ニ金ノ出シ宜イ方法デアル、斯ウ云フ出シ宜イ方法ニ成ル可ク多ク見積ツテ置クヤウナ形、御考ハサウヂヤアリマスマイガ、形ニナルト云フコトハ餘程問題ヂヤナイカ、ソレデ私共數百萬石違フ、又私ノ言ウタ方法デ考ヘルト、ドウモサウシカナラヌ、數百萬石ハ謂ハバ空ナモノデアルト云フコトハ大事ナ問題ダト思フ、續イテ伺ヒマシガ、今度ハ在米調ベノ問題デアリマシガ、此在米調ベガ一昨年十一月即チ昭和七年ノ十一月一日ノ在米調ベ、此時モ在米調ベノ方法ガ從來ト御變ヘニナツタ、細カイコトハ能ク存ジマセヌガ、大體ハ矢張り産額實收高調ト同ジコトデアアル、詳シク調ベラレタ爲ニ非常ニ在米ガ殖エテ來タト云フコトガアル、其殖エタ在米高ガ、私ノ見込デハ三百三十萬石バカリニナル、是ハ政府ハ固ヨリ其調ベ上ツタ數字ヲ正シイモ

ノトシテ御扱ヒニナツテ居ルノデアリマシガ、是モ極メテ明瞭デアルト思フ、ト云フノハ、大正六年度ヨリ昭和七年度迄ノ間ニ於テ、一人當リ消費量ガ一石一斗ヲ潛ツタノハ二回シカナイ、一石一斗ヲ潛ツタノデモ、又一番低イノデモ一石七升一合ト云フコトニナツテ居ル、所ガ今ノ在米調ノ調査方法ヲ改訂セラレタ、昭和七年度ノハ、一石一升四合ト云フモノニナツテ居ル、六升三合減ッテ居ル、何故ニ過去十數年間今ノヤウナ形勢デアルモノガ、突然昭和七年度ニナツテ一石一升四合ニナツタト云フコトハドウシテモ常識デ考ヘラレヌ、是ハ何處カニ原因ガナケレバナラヌ、其原因ヲ段々考ヘテ見マスト、在米調ノ方法ガ變ツタト云フコトノ外ニハナイ、アレバ御教エヲ願ヒタイノデアリマシガ、全クナイト思フ、在米調ノ方法ガ變ツテ在米ガ多クナツタト云フト、消費量ガ丁度ソレダケ減ッテ來ルト云フコトハ當然ノコトデアアル、在米ヲ調査シタ結果多クナツタモノヲ、其儘在米調ノ方ニ御書キニナルカラ……御書キニナルカラ惡イト云フノデハナイ、之ハ仕方ガナイ、御書キニナツタケレドモ、後ノ見方ガ惡イ、御書ニナツタカラ一人當リノ消費量ガ減ッテ來ルノデアリマス、ソレヨリ外ニ何カ在米調ガ多クナツタ

ダラウト云フ理由ガアレバ宜イノデス、又昭和七年度ハ一人當リ消費量ガ一石一升四合デ國民全般ガ我慢シタト云フコトノ實證ハ上リヤウガナイ、アリ得ベカラザルコトデアアル、ドウシテモ此處ガ間違ッテ居ル、私ハ昭和七年度ノ實際ノ調ベヲシテ見タノデスガ、是ハ無論總テ政府ノ材料ニ依ッテデアリマシガ、昭和六年ノ十一月カラ昭和七年ノ八月迄十箇月間、此間ハ是ハ固ヨリ從來通りノ在米調ノ調査方法デ行キマシタカラ、ソレガ善イ惡イハ別問題デス、正シイカ正シクナイカハ別問題デアアルガ、兎ニ角問題ニナル、ソレハ一人當リノ十箇月ノ平均ガ八升九合ト云フモノニナツテ居ル、九月十月ノ二箇月ト云フモノガ十一月一日ノ在米高ニ支配サレテ、ソレデ十一月一日ノ在米高ハ此年ニ非常ニ多クカツタ爲ニ、政府ハ調ベニ依ルト、九、十ノ二箇月ト云フモノハ一箇月平均六升二合ト云フモノニナツテ居ル、前ガ一箇月八升九合、其處デ二升七合ト云フモノガ減ッテ居ル、ドウモ國民ガ此二箇月ダケガ非常ニ儉約シテ居ルトカト云フコトハドウシテモ考ヘラレヌ、此政府ノ調ベノ結果、結局茲ニ米穀要覽ニ上ガッテ居リマス一石一升四合ト云フ一年間ノ消費量ガ出テ居ル、私ハ何ノコトハナイ、前十箇月ノ

八升九合ト云フモノガ矢張り其後ノ九、十ノ二箇月ニモ使ハレタモノト假定スルノガ相當デアアル、之ハ又酒造米ノ問題ガアリマシガ、是ハ餘リ問題ガ細カクナリマシカラ止メマス、ノミナラズ酒造米ノコトハ、十箇月デアアルカラ差引計算スルト五分ノ一ノ違ヒニナル、先ヅ大體ニ於テ八升九合ト云フモノガ一年中通過シテ攝ラレタ、サウスルト一石一斗四升ト云フモノガ一石六升八合ト云フモノニナラナケレバナラヌ、サウナルト三百三十萬石消費量ガ殖エルト云フコトハ在米調ガ減ル、ソレカラ昭和七年ノ十一月一日ノ此在米調ト云フモノハ政府統計ニ上ガッテ居ル八百九十萬石、ソレカラ三百三十萬石バカリ引イタモノデナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナル、サウナルト、從來吾レ人共ニナンカナンニ理想持越米五百萬石ト言ッテ居ツタガ、此理想持越米ガ此時カラハ、大體三百五十萬石ト見テ、八百五十萬石ト云フ計算ニナラナケレバナラヌ、是ハ私ハ何百何十何萬石ハ如何デゴザルト云フ質問ハ致シマセヌガ、大體ニ於テ數百萬石ハドウシテモ在米調ガ殖エタ、在米調ノ殖エタコトハ一昨年ノ十一月一日以後今日ニ到ル迄モチヤントソレガ續イテ居ルノデアアルカラ、矢張り今日ノ、例ヘバ本年度ノ

終ヒノ持越米ガ一千六百萬石ト仰セニナレバ、ソレカラ數百萬石ダケハ前カラ殖エテ居ルモノデアツテ、私ニ言ハセレバ、三百五十萬石ハ前カラ殖エテ居ルモノデアアル、今年新ニ殖エルノデハナイト云フコトヲ言ハザルヲ得ヌ、其點ヲチヨット御意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(荷見安君) 只今色々御計數ニ

付キマシテ、ソレハ御見込デゴザイマスカラ別ニドウモ御批評申上ゲル程ノコトデゴザイマセヌガ、私共ノ見マスル所ニ依リマス、昭和七年ハ此要覽デモ四頁カラ五頁ニ互ツテ御覽ヲ願ヒマスト分リマスルガ、非常ニ凶作デゴザイマシテ、大體平年作デゴザイマスト六千萬石カラ六千一百万石ハ收穫出來マスガ、此七米穀年度即チ昭和六年ノ産米ハ五千五百萬石ト云フ非常ニ凶作デゴザイマシタ、私共ガ外米ヲ輸入シナケレバナラスト云フコトヲ考ヘマシタノハ此時ノ問題デゴザイマス、サウ云フ風ニ供給量ガ少ナカッタノデアリマスカラ、結局消費量モ一人當リト云フモノハ、約算スルト少クナツテ參リマシテ、調査ノ方法ガ變ツタコトモドレ程影響シテ居ルコトデアリマスカ、チヨット申上ゲ兼ネマスガ、アルカモ知レマセヌガ、大體ハ非常ニ凶作ガ齎シタ結果

ノヤウニモ考ヘラレマス、又此二十六頁ノ十一月一日現在ノ表ノ所ニモゴザイマスヤウニ、今上山委員ノ仰セニナリマシタ此十一月末ノ持越量ガ八百九十萬石カラ三百何十萬石カガ差引カレルコトガ正シクハナイカト云フ御話ニ付キマシテハ、此八百九十萬石ノ中、其次ノ欄ニゴザイマス、政府所有米ハ三百十九萬石バカリゴザイマスノデ、此民間持越ハ五百七十一萬石バカリノ持越ノ數字ニ相成ツテ居リマス、ソレカラ三百何十萬石カラ引キマスト、民間持越ガ全國ニ互リマシテ、内地米及朝鮮米、臺灣米及外國米モ重ネマシテ、二百萬石位ニナルノデアリマス、唯端境持越ガ民間ニ二百萬石ト云フコトハ、非常ニ少イ數字ニナリマス

○上山滿之進君 今ノハ私ハ只今後段ニ於

テ説明ヲシタ昭和七年度ノ需要供給ヲ前十箇月、後二箇月、即チ十一月カラ八月迄ノ十箇月、九月、十月ノ二箇月トシテ計算シテ居ルノデス、是ハ勿論御認メニナルト思フノデス、又ナラナケレバナラスト思フノデアリマスカラ、前十箇月ノ方ハ一箇月一人當リ八升九合、九、十ノ二箇月ハ六升二合、二升七合モ違フ、小三升違フト云フコトハドウ御説明ニナリマスカ、是ハモウ直グ此次ニ出來テ來ル十一月ノ在米調べガ多クカッタカラ、今度ハサウ云フ風ニ消費量ガ減ツテ來タ、ソレハ固ヨリ問題ニナラスト思ヒマス、ソレニ何カ御説明ガアレバ伺ヒマス、御説明ガナケレバ私先へ進ミマス

ノ數量ハ其時ノ事情ニ見マシテモ、存外豊富デアッタヤウニ考ヘラレマス、ドウモ買入レマシタ外米ノ處分モ出來ナカッタト云フヤウナ状態デアリマスカラ、年度ノ代リ目ノ現在高調査ガ變リマシタ爲ニ、數百萬石殖エタト云フコトデハナイノデハナイカ知ラヌ、兎ニ角別ニ調査ガゴザイマセヌノデスカラ、ソレヲ正確ニサウデアアルナイト云フコトヲ私申上ゲルコトガ出來マセヌデスガ、事情ハサウ云フ事情デアリマスト云フコトダケ申上ゲマス

○政府委員(荷見安君) ソレハ月々ノ消費

量ノ變化ハ成程在米調査ハ致シマスルケレドモ、ドノ月ガ同ジデアルカ、少クアルカト云フコトハ今モ上山委員カラ御話ニナリマシタヤウニ、私藏米ノ關係モアリマスシ、又七八月以後ニナリマスト、食用農産物ト致シマシテ、農村ニ於キマシテハ、或ハ馬蹄薯ガ出來マストカ、麥ガ穫レマストカ、色々ナ物ガ出來マス關係上、必シモ同一ノ消費歩合デ以テ出スト云フコトハ困難カト思ヒマス、勿論麥ノ消費ナリ、馬蹄薯ノ消費ナリト云フヤウナモノノ消費ノ統計ガ私共取ツテゴザイマセヌノデ、之ヲ數字ニ申上ゲルコトハ困難カト思ヒマスガ、幾分今ノ御疑問ノ何故九、十兩箇月ニ消費ガ減ツテ殘存ガ擴大シタカト云フコトニ付キマシテハ、或ハ他ノ代用食等ガ農家ニ出來マシテ、米モ少カッタ年合デゴザイマスカラ、農家デハ外ノモノヲ比較的餘計食料ニ供スルヤウナ關係ガアリマシテ、斯ウ云フ數字ガ出テ來タノデハナイカ知ラント思ヒマスノデ、其調査方法モ成程所在地別ニ調査スルコトニナリマシテ、一層正確ヲ期シタ次第デハゴザイマスケレドモ、尙ホ府縣ニ配置シマシタ專任職員ノ數モ一府縣一人宛位判任官ヲ増シマシテ監督サセタヤウナコトデ、別



ニ詳細ニ手ガ盡シ得マシタト云フコトヲ申上兼ネルノデアリマスガ、大體ガ統計ノ調査方法ニ依ルモノハソレ程大キクハナカッタノデハナカラウカト思ヒマス、是ダケ申上テ御參考ニ供シマス

○上山滿之進君　モウ此上申シマセヌガ、明瞭ニ七年度ノ前十箇月ト後一箇月ト、前十箇月ノ平均……平均デ私ハ申上テタノデ、月々ノコトデハアリマセヌ、平均ガ八升二合、ソレカラ後ノ二箇月ハ新シイ在米調ニ掛ツタ時ハ六升二合ト云フコトデ、是ハモウ極ク明瞭ト考ヘマス、ソレカラモウ一ツ、私獨リデ誠ニ相濟ミマセヌガ、モウ一ツ關聯シテ居リマスカラ伺ッテ私ハ少シ休ミマス、本年三月一日ノ現在米調ベガ出マシテ其高ガ五千四百餘萬石ト云フコトニナッテ居リマス、是ハ勿論問題ノナイ數字デアリマスガ、是ト前年度ノ供給量九百萬石、ソレカラ今ノ實收高ガ七千萬石、ソレカラ移入調査、朝鮮カラ三百六十萬石、臺灣ハ百四十萬石移出ハ少シノ數字デアリマスカラ強イテ申シマセヌガ、合計デ移入モ移出モ僅ノ數字デアリマスカラ申シマセヌガ、今ノ數字ヲ差引キマスト三千八十四萬……、八十五萬石ト云フコトニナリマス、是ハモウ無論問題ノアルベキ數字デハナイノデス、

之ヲ此今年度ノ推定人口六千六百八十六萬一千ト云フモノニ割リマスト四箇月ノ消費額ガ四斗六升一合、是ガ一箇月ガ一斗一升五合ト云フモノニナルノデ、是ハモウ表ハレタ數字ニ依ッテ計算シタノデアリマスカラ勿論政府ニ御異存ガアラウ筈ガナイ、デ之ヲ昨年ノ同期間、一昨年ノ十一月一日カラ昨年ノ二月末日迄ノ四箇月迄ノ食料ニ比ベテ見マスト丁度一升、一箇月一升増シテ居ル、一箇月一升ト致シマシテ其ナリデ進

ンデ行キマスト夥シイ數字ニナル一年間約一斗九升ト云フモノニナル、ソレデ昨年ノ消費量一石九升八合デシタカラ是ニ加ヘマスト、一石二斗八升五合ト云フ、是ハ大變ナ數字ニナル、ソレデソレニ依ッテ立テテ算盤ノ結果ヲ申シマスト、私ハ之ヲ今宜イトハ思ヒマセヌガ、サウ致シマスト此三月カラ十月迄八箇月間ノ消費總額ノ見込ガ五千五百萬石ト云フモノニナル、サウシテ是ニ朝鮮カラノ移入、是ハ政府ノ見込通りデアリマスガ、政府ノ見込通りニ計算ラ致シテ、ソレヤ是ヤヲ差引イテ見マスト、要スルニ次ノ年度ノ持越米ハ六百五十萬石ニシカナラナイ、千六百七十八萬ト云フノガ千萬減ッテ六百五十萬石ニシカナラヌ、ドウモ是ガ少シ數字ガ大キイト思フノデア

マス、前四箇月ノ數字ハ是ハモウ明カニ政府ノ調査ニ依ッテ現レテ居ルコトデアリマスカラ、是ハ間違イナイトシナケレバナラヌ、サウスルト只問題ハ三月以後ノ八箇月間ニ於テ前四箇月ト同ジ消費ラスルカセヌカト云フコトガ問題ニナリマスケレドモ、兎モ角モ斯ウ云フ數字ガ出ル、併シ此數字ガ非常ニ大キイト思フ、五月一日ノ現在見込ヲ調べテ見テ、モウ一遍考ヘヌト實ハ私ハ必ズ斯ウナルトハ申セマセヌケレドモ、

豐年ノ翌年ハ消費ガ必ズ増加スル、是ハモウ決マッテ居ルノデスカラ、サウシテソレハ先刻本會議デモ申シタノデアリマスガ、過去ノ年ニ於テ非常ニ產額ガ増加シタリスルト、產額ノ増加シタダケ持越米ガ殖エルカト云フト決シテ殖ヘテナイ、現ニ昭和三年度ハ増產ガ七百萬石デアルガ持越ノ増ハ二百萬石、昭和六年ハ増產七百萬石デ持越ガ三百萬、昭和八年度ハ増產五百萬石デ持越米ハ、百萬石ニ足ラヌ、最近ノ事實ニ於テモ豐年デアルト云フト澤山喰フノデス、澤山喰フカラ喰ヒ減ラシデ、サウシテ持越米ガ丁度増產ニ近イ數字ノ持越ノ増ト云フモノハナイ、必ズ三分ノ一カ二分ノ一カ知ラヌケレドモ、ウント減ッテ來ル、是ハモウ實際サウデアル、ソコデ御尋ネシタイノハ昨年ハ非

常ニ豐作デアツタカラ、今年ハ甚ダ消費ガ増加スルト思フノデアリマスガソレハ如何デアリマセウカ

○政府委員(荷見安君)　豐年ノ時ハ御話ノヤウニ消費ガ増加イタシマスカラ、今年モ相當増加スルモノデナイカト考ヘテ居リマス、只此數字ノ問題デゴザイマスガ、昭和六年ニハ此要覽デ御覽ニナリマスマウニ、外國輸出ガ百六十萬石バカリアッテ、平年ヨリ約百五十萬石位ハ外國ニ出タ分ガ多クナッテ居リマスカラ、若モ之ヲ賣却出來マセヌデ内地ニ置イタト致シマスト、只今御話ノ分ヨリ幾分持越ハ餘計ニナルト思ヒマス、政府ト必シモ意見ガ一致セヌ譯デアリマセヌ、或部分ハ一致シタカト私ノ方デハ思ハレル、ソレデ要スルニ、千六七百萬石本年ノ持越デアルト云フコトハ、餘リ過大デア

傍聴シテ居ルト二度モ三度モ出タ、衆議院ノ人モサウ思ッテ居ル、ソレデ天下一般非常ニ米ノ洪水デアルト云フコトヲ云ヒマス、政府モ何ダカ洪水ラシイト仰シヤルヤウナ形ニ見エルシ、此爲ニ非常ニ世間デ感フテ、人心ガ不安ニ陥ル、サウシテ此米ノ問題ノ解決ト云フモノヲ非常ニムヅカシクナリハセヌカト云フコトヲ實ニ私ハ遺憾ニ思フノデアリマス、是ハ意見ノヤウニナリマシタガ、此邊デ私ハ止メテ置キマセウ、又後ノ機會ニ……

○**絲原武太郎君** 私ハ會期モ切迫ノコトデゴザイマスカラ、成ルベク本案ノ方ニ近イモノカラ簡單ニ伺ヒマス、本法案即チ臨時米穀移入調節法案ガ今回兩院ヲ通過シマスレバ、此實施ノ時期ハ何月頃カラ實際ニ外地米ノ買入ヲ實行セラレル御考デアリマスカ、ソレカラ昭和八年度ノ朝鮮ト臺灣米ハ昨年ノ十一月以來何程ノ數量ガ内地ニ移入サレテ居リマセウカ、而シテ内地ノ各地ニ分布ノ狀態ハ如何ヤウニナッテ居リマセウカ、第一之ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス、其内此移入米ニ付キマシテハ茲ニ參考資料ヲ戴イテ居リマスガ、私ガ御伺ヒ致シマスノハ、昭和八年度産米ニ付テデゴザイマス

○**政府委員(荷見安君)** 只今ノ御尋ネノ臨

時米穀移入調節法案ノ施行ヲ成ルダケ早ク實行イタシタイト思ッテ居リマス、ソレデ大體二二箇月程度ノ準備期間ガアリマスレバ、間ニ合フト思ヒマスカラ、五月頃カラハ施行出來ルコトニナリハセヌカト思ヒマス、尙ホ御尋ネノ朝鮮米ノ内地ノ移入數量デアリマスガ、十一月以降三月上旬マデノ分ガ、三百九十六萬五千石ト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ臺灣ノ米ガ、二月下旬マデノ間ニ十一月カラ累計イタシマス、百四十五萬三千石ト云フコトニナッテ居リマス、朝鮮米ノ移入ハ前年ニ比ベテ、同期間ニ六十四萬二千石ノ増デゴザイマス、臺灣ノ方ノ米ハ前年ニ比ベマシテ十七萬七千石ノ減ニナッテ居リマス

○**絲原武太郎君** 次ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマスノハ、當法案ガ通過イタシマシテ、實施ノ曉ニハ朝鮮産米ニ對シマシテハ移入ハ自由ニナリマセウシ、又買上價格ヲ補償セラルルヤウナ結果トナル譯ヂヤナイカト思ハレマス、仍ッテ内地ニ於ケル企業家又ハ地主農民ガ之ニ對シテ愈、増産ノ獎勵ニナルヤウナ風ニ考ヘラレマスルガ、此點ニ付キマシテ農林省ハ如何ナル御考ヲ御持チデゴザイマスカ

○**國務大臣(後藤文夫君)** 米穀法ヲ實施シ

テ臺灣米ノ買上ヲスルコトニナレバ、買上ヲシテモ、一面ニ入ッテ來ル米ハ自由ナノデアルカラシテ、朝鮮米ノ値段ガソレダケ幾ラカ高クナッテ來ルト云フ結果、益、増産ヲ獎勵スルノ結果ニ陥ルノデハナイカ、斯ウ云フ御尋ネデゴザイマスカ

○**絲原武太郎君** 左様デゴザイマス

○**國務大臣(後藤文夫君)** 是ハ米價ガ高ク維持サレマスレバ、増産ヲ獎勵スル惧ガアルノデハナイカト云フコトガ常ニ言ハレルコトデアリマシテ、内地ノ統制法ニ依ル米價維持ニ付テモ同ジヤウナコトガ一部ノ人カラ論議サレマスシ、値段ガ高クサレルト云フコトハ、ドウシテモ増産ノ傾向ヲ生ズルデアラウト云フ惧ハアルノデアルト思ヒマス、併ナガラアルト存ジマスルガ、此法案ハ御承知ノ通り臨時法デアリマシテ今年カラ來年ノ出來秋ニ掛ケテノ米ガ買上ヲスルコトニ依ッテ、値段ガ幾ラカ良クナルト云フコトハ又翌年モ増産ヲ獎勵スルデアラウト云フコトハ考ヘラレヌデモゴザイマセヌケレドモ、ソレヨリモ内地ノ米價ニ對スル壓迫ヲ除クノ效果ガ相當適切デアル、其爲ニ此臨時便法ヲ講ズルコトガ今ノ場合ハ應急處置トシテ相當デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○**絲原武太郎君** 此只今ノ御答デ増産ノ傾向ヲ來タスデアラウト云フ御答辯デアリマス、此増産ノ關係ニ付キマシテハ、更ニ後段ニ又御伺ヒ致シタイト思ヒマス、次ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマスコトハ本法案ガ法律トナリマシテ、實施セラレルヤウニナリマスレバ、自然朝鮮並ニ臺灣、外地米ハ外地ノ要求ニ應ジテ買上ヲセラレルコトニ相成ラナクチャナラスカト思フノデアリマス、左様ナ風ニナリマスルト、此内外地ヲ通ジマシテ此米穀ノ需要供給ヲ推算シテ、而シテ此統制ヲセラレネバナラスコトニ相成ラデアラウト考ヘラレルノデアリマスガ、内地ノ需給上ノ必要ナダケノ外地米ヲ輸入シマスルヤウナ政策ヲ、此需給調節法ニ依リマシテ…… 此統制法ニ依リマシテ、ナサル御考ハアリマセヌカ

○**國務大臣(後藤文夫君)** 此米穀ノ移入ノ調節法ハ、内地ノ米穀ノ需給關係ノ均衡ヲ圖ルガ爲ニ實行シヤウトシテ居ルノデアリマシテ、朝鮮臺灣ニ於ケル買上ノ要望ニ應ジテ買上ゲルト云フ趣旨ハ全然ゴザイマセヌ、内地ノ需給ノ關係ヲ圖ッテ内地ニ入ッテ來ル米ノ數量ヲ調節スル爲ニ買上ヲ行ハムトスルモノデアリマス、尙チヨット前ニ御答シタコトニ附加ヘテ置カナケレバナラスノ

ハ、値段が幾ラデモ高く維持サレト云フコトハ、安イ場合ヨリハ増産ト云フ方ノ傾ヲ生ズル働キヲナスデアラウト云フコトヲ申シタノデアリマス、現實ニ此買上ヲスルカラ増産ヲスルダラウカト云フコトハ自カラ問題ガ違ヒマス、或ハ代作ノ獎勵デアリマストカ云フヤウナコトヲ考ヘテ居リマスガ、増産ノ問題ハ更ニ延イテ内地ニ入ル米ガ多クナルダラウカドウカト云フ問題ニ入ッテ來マスレバ尙ノコト、關稅法ノ問題モ考慮シテ居リマスカラ、現實ニ、之ヲヤレバ、現實ニ増産ガ生ズルト云フコトヲ申スノデアリマセヌ、此コト自體ノ影響ヲ申スト、是ハサウ云フ働キヲ持ツノデアアルガ、他ノ政策ガ加ッテ參ルト云フコトモ我々ノ方デ努力ヲ致シテ居ルコトデアリマスカラ、ソレダケチヨット條件付ケテ御答ヲ致シテ置キタイト思ヒマス

○絲原武太郎君

只今ノ二次イデ御伺ヲ致シマスガ、外地ニ於ケル此過剩米ハ、今回ノ臨時米穀移入調節法ニ依リマシテ兎ニ角或程度迄ハ政府デ買上ゲラレルコトニナルノデアリマス、從テ此内地移入ハ、内地ガ不足ヲ生ジマス必要ナ數量ダケヲ矢張り政府ノ手ヲ經マシテ、出來得ル限り月別的ニ平均シテ内地ニ移入セラレタラバ、内地

○國務大臣(後藤文夫君)

此法案ハ御覽ノノ米價ノ調節上非常ニ其價格等ガ安定スルコトニナリマスガ、此所迄進ンデ御實行ナル御考ハアリマセヌカ

○絲原武太郎君

私ハ只今ノ御答辯ニ依リマシテ大體ノ御考慮アラレマスルコトハ諒承イタシタノデゴザイマスガ、此外地ノ過剩米ト内地米ノ關係ニ付キマシテハ、只今申上ゲマシタ所迄參リマセネバ、此米穀ノ統制、或ハ此内地ノ米穀ノ價格維持ト云フヤウナ點ハ、將來ノ解決ニ付キマシテハ私ハ最モ困難ナモノト

○國務大臣(後藤文夫君)

只今ノ所マダ左様ナコトニ、勿論方法モ立ッテ居リマセヌシ、矢張り内地、外地ノ米ヲ買上ゲラ致シマシタモノヲ、出來ルダケ適當ナ處分ヲ致ス方法トシテハ、只今ノ方法ハ考ヘル積リデアリマス、御意見ノ點ナドハ今直ニ實行スルコトニハ相成ッテ居リマセヌ

○絲原武太郎君

次ニ倉庫ノ件ニ付イテ御尋ネ申上ゲタイト思ヒマス、是ハ衆議院ニ於キマシテモ質問ニナリマシテ、御答ヘニナッテ居ルヤウデアリマスルガ、今回臨時米穀移入調節法案ヲ外地ニ實行ニナルト云フ

○政府委員(荷見安君)

此臨時米穀移入調節法案ヲ實行シマスノニ付テノ倉庫ノ問題デアリマスガ、是ハ只今デハ若モ必要ガアル場合ニハ買入レラ致シマストシテ最高限度デアリマスル七百萬石程度ヲ買ヒマスカラ、只今デハソレマデノ倉庫ハゴザイマセヌ、只今デハ朝鮮ニ於キマスル收容力ノ關係ハ四十萬石カラ五十萬石ノ程度ノモノハアリマス、其他ハ政府デ昨年ノ暮カラ本年ノ始メニカケテ、季節出廻リ數量調節ノ爲ニ買入レマシタ朝鮮米ガ約百二十萬石朝鮮ニアル譯デアリマス、其季節調節出廻リノ爲ニ買入レマシタ米ハ、若モ米價ガ標準最低價格ヨリ五分以上ニナリマスレバ、賣拂ッテシマフコトヲ適當トスルモノデアリマシ

ノ米價ノ調節上非常ニ其價格等ガ安定スルコトニナリマスガ、此所迄進ンデ御實行ナル御考ハアリマセヌカ

○國務大臣(後藤文夫君)

此法案ハ御覽ノノ米價ノ調節上非常ニ其價格等ガ安定スルコトニナリマスガ、此所迄進ンデ御實行ナル御考ハアリマセヌカ

○絲原武太郎君

私ハ只今ノ御答辯ニ依リマシテ大體ノ御考慮アラレマスルコトハ諒承イタシタノデゴザイマスガ、此外地ノ過剩米ト内地米ノ關係ニ付キマシテハ、只今申上ゲマシタ所迄參リマセネバ、此米穀ノ統制、或ハ此内地ノ米穀ノ價格維持ト云フヤウナ點ハ、將來ノ解決ニ付キマシテハ私ハ最モ困難ナモノト

○國務大臣(後藤文夫君)

只今ノ所マダ左様ナコトニ、勿論方法モ立ッテ居リマセヌシ、矢張り内地、外地ノ米ヲ買上ゲラ致シマシタモノヲ、出來ルダケ適當ナ處分ヲ致ス方法トシテハ、只今ノ方法ハ考ヘル積リデアリマス、御意見ノ點ナドハ今直ニ實行スルコトニハ相成ッテ居リマセヌ

○絲原武太郎君

次ニ倉庫ノ件ニ付イテ御尋ネ申上ゲタイト思ヒマス、是ハ衆議院ニ於キマシテモ質問ニナリマシテ、御答ヘニナッテ居ルヤウデアリマスルガ、今回臨時米穀移入調節法案ヲ外地ニ實行ニナルト云フ

○政府委員(荷見安君)

此臨時米穀移入調節法案ヲ實行シマスノニ付テノ倉庫ノ問題デアリマスガ、是ハ只今デハ若モ必要ガアル場合ニハ買入レラ致シマストシテ最高限度デアリマスル七百萬石程度ヲ買ヒマスカラ、只今デハソレマデノ倉庫ハゴザイマセヌ、只今デハ朝鮮ニ於キマスル收容力ノ關係ハ四十萬石カラ五十萬石ノ程度ノモノハアリマス、其他ハ政府デ昨年ノ暮カラ本年ノ始メニカケテ、季節出廻リ數量調節ノ爲ニ買入レマシタ朝鮮米ガ約百二十萬石朝鮮ニアル譯デアリマス、其季節調節出廻リノ爲ニ買入レマシタ米ハ、若モ米價ガ標準最低價格ヨリ五分以上ニナリマスレバ、賣拂ッテシマフコトヲ適當トスルモノデアリマシ

考ヘルノデアリマス、此點ハ更ニ一ツ御考究下サイマシテ、只今申上ゲマシタ所マデ御進メナリマスマヤウニ御考究ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス、若シ外地ニ於ケル過剩米ヲ前述ノ如キ方法ニ依ッテ解決セラレ、又進ンデ若シ内地ニ移入シマス所ノ必要アル持越ノ過剩米ガアル場合ニハ、内地ニ移入シナイデ、外地ニ於テ之ヲ賣却スル、或ハ加工其他ノ方法ニ依ッテ始末セラレルコトガ最モ私ハ適當ナル方法デナイカト思フノデアリマス、此點ニ付キマシテ、米穀ノ加工其他ノ外國輸出ト云フ方ハ、主ニ外地米ヲ以テナサルト云フヤウナ御考ハアリマセヌカ

○國務大臣(後藤文夫君)

只今ノ所マダ左様ナコトニ、勿論方法モ立ッテ居リマセヌシ、矢張り内地、外地ノ米ヲ買上ゲラ致シマシタモノヲ、出來ルダケ適當ナ處分ヲ致ス方法トシテハ、只今ノ方法ハ考ヘル積リデアリマス、御意見ノ點ナドハ今直ニ實行スルコトニハ相成ッテ居リマセヌ

○絲原武太郎君

次ニ倉庫ノ件ニ付イテ御尋ネ申上ゲタイト思ヒマス、是ハ衆議院ニ於キマシテモ質問ニナリマシテ、御答ヘニナッテ居ルヤウデアリマスルガ、今回臨時米穀移入調節法案ヲ外地ニ實行ニナルト云フ

○政府委員(荷見安君)

此臨時米穀移入調節法案ヲ實行シマスノニ付テノ倉庫ノ問題デアリマスガ、是ハ只今デハ若モ必要ガアル場合ニハ買入レラ致シマストシテ最高限度デアリマスル七百萬石程度ヲ買ヒマスカラ、只今デハソレマデノ倉庫ハゴザイマセヌ、只今デハ朝鮮ニ於キマスル收容力ノ關係ハ四十萬石カラ五十萬石ノ程度ノモノハアリマス、其他ハ政府デ昨年ノ暮カラ本年ノ始メニカケテ、季節出廻リ數量調節ノ爲ニ買入レマシタ朝鮮米ガ約百二十萬石朝鮮ニアル譯デアリマス、其季節調節出廻リノ爲ニ買入レマシタ米ハ、若モ米價ガ標準最低價格ヨリ五分以上ニナリマスレバ、賣拂ッテシマフコトヲ適當トスルモノデアリマシ

テ、大體年内ノ出廻リヲ調節スル爲ニ買ッ  
米デアリマスノデ、若モ是ガ此夏場ニカケ  
テ販賣ガ出來マスレバ、百二十萬石位ノ收  
容力ハ生レル譯デアリマス、サウ致シマス  
ト云フト、此五月以後ニ買入レル所ノ二百  
四五十萬石ノ米ト云フモノハ、是ハ相當餘  
裕ガ付ク譯デアリマス、ソレカラ來年ノ作  
柄ヲ見マセヌケレバ、ドレ位買フヤウニナ  
ルカ判然イタシマセヌガ、若モ其他ニ必要  
ガアリマスレバ、是ハ民間ノ倉庫業者ニ對  
シテ、倉庫ノ建設等ヲ勧誘イタシマシテ、  
相當數量ガ擴張出來ルデアラウト考ヘテ居  
リマス、必シモ内地ト同様ニ行クト云フ譯  
デハゴザイマセヌガ、内地ニ於キマシテモ  
昨年未以來、民間ノ倉庫業者デ建築サセマ  
シタモノハ、約二百萬石程度ノ收容力ノア  
ル倉庫ヲ建設サセマシテ、而モ急イデア  
ト、燻蒸ガ出來マスヤウナ倉庫ガ約二十日  
間デ竣工シテ居ルヤウナ事情デアリマシテ、  
若モ非常ニ必要デアレバ、急イデ建築モ致  
サセマス、又政府ノ方ニ於テモ幾分經費ガ  
取ッテゴザイマスカラ、已ムヲ得ナイ時ニハ、  
適當ナ所ニ倉庫ヲ建築スルト云フコトニ考  
ヘテ居リマスカラ、此收容力ノ點ニ於テハ、  
買入レヲ必要トスル實情ニ立至レバ、何ト  
シテモ間ニ合セルコトガ出來ルト考ヘテ居

リマス

○絲原武太郎君 次ニ御尋ネシタト思ヒマ  
スコトハ、上山君ノ方カラ昭和八年度ノ生  
産米ノ、九年ノ持越米ニ付キマシテノ色ミ  
高遠ナル御質問モアリマシタシ、政府カラ  
ソレニ御答ニナッテ居リマスガ、マダ御意見  
ガ一致シマシタヤウナ御答辯ガナササウニ  
承ッテ居リマス、政府ノ方ノ此持越豫想米  
ハ、只今配布ニナリマシタ書類ニアリマス  
カドウデゴザイマスカ、大體ドノ程度ノ持  
越米ト御推定ニナッテ居リマスカ

○國務大臣(後藤文夫君) 此端境期ニ於ケ  
ル持越米ノ政府ガ抱イテ居リマス大體ノ推  
算ハ千六七百萬圓ト云フコトデアリマス

○絲原武太郎君 若シ果シテ政府ノ御推定  
ニナッテ居リマス數量ノ持越米ヲ、昨年度ハ  
之ヲ持越スコトニ相成リマス、又丁度昭  
和八年度ノ内外兩地ニ於キマシテノ産米ノ  
豐作ト云フヤウナコトハ豫期シナイノデア  
リマスルケレドモ、大體ニ於キマシテ、本  
年ノ如キ狀態ヨリシテ考ヘマスレバ、内外  
ヲ通ジマシテハ、内外地ノ人ノ消費ニ依リ  
テハ或ハ生産過剩ト云フヤウナコトニ相成  
ルモノデナイカト推定モセラレルノデアリ  
マス、此點ニ付テ政府ハ如何ヤウナ御考ヘ  
ヲ御持チデスカ

○國務大臣(後藤文夫君) 大體左様ニ推測  
サレルノデアリマス、此昭和九年ノ新シイ産  
米ガ、昭和八年ト同ジ程度ニ内外地ヲ通ジ  
テ増産ヲサレタト云フヤウナコトデアルト  
シマスレバ、サウシテ端境期ノ今年ノ持越  
米ガ千六七百萬石程度デアルト云フ推定ヲ  
取リマスルト、矢張り相當ナ過剩ガ茲ニ現  
ハレテ參リマス、丁度今御協贊ヲ願ッテ居  
リマスルヤウナ、非常資金ノ計畫ヲ一應立  
テテ置ク必要ガアルヤウニ思フノデアリマ  
ス

○絲原武太郎君 只今御答辯ヲ得マシタヤ  
ウナ感じガ、ドウモ私等モ最近ニナッテカ  
ラ考ヘラレルノデアリマス、就キマシテハ  
今回法案モ御提出ニナリマシテ、種々米穀  
加工其他ノコトニ付キマシテノ研究モセラ  
レルヤウデアリマスルガ、現在マデニ此過  
剩米ガ將來相當ナ數量ガ年々生産サレルモ  
ノトシマシテ、之ニ對スル恒久的ノ對策ガ  
是非必要デアルト考ヘマス、即チ米穀ノ用  
途ノ轉換或ハ内外地ヲ通ジマシテノ代作、  
進ンデ減作ヲスルトカ、兎ニ角内外地ヲ通ジ  
マシテノ生産統制ニ付キマシテハ、相當此  
際考慮ヲ要スベキモノト考ヘルノデアリマ  
ス、之ニ付キマシテ從來既ニ御調査ナリ御  
研究ニナッテ居リマスカ、若シ居リマスレ

バ、其調査ナリ研究ノ御發表ヲ御願ヒ致シ  
タイト思ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君) 近年ノ如キ米穀  
需給ノ狀況ヲ見マスルト、是ガ更ニ將來永  
續キスルモノデアルトシマスレバ、ドウシ  
テモ消費ノ増加、一面ニハ生産ノ方ノ統制  
ト云フコトガ必要デアルト考ヘテ居リマ  
ス、併ナガラ米ノ消費ノ増加ニ關シテ新規  
ノ方面ヲ開拓スルト云フヤウナ問題ハ、實  
ハ今日マデ餘リ考究サレテ居リマセヌ、昨  
年來當局ニ於キマシテモ銳意ガ考究ヲ進  
メテ參ッテ居リマス、政府所有米ヲ斯ウ云  
フコトノ爲ニ使フ途ヲモ拓イテ行カウト云  
フ法案ノ御協贊ヲ願ッテ居ルノモ實ハ其爲  
メデアリマス、之ニ依ッテ相當ナ程度ノ將  
來用途ノ開拓ガ出來ハセヌカト云フヤウナ  
推測ハ有ッテ居リマスケレドモ、的確ナコト  
ハ今申上ゲラレマセヌ、更ニ内外地ヲ通ジ  
テノ生産統制ノ問題ハ先年來ノ宿題ニナッ  
テ居ルノデアリマシテ、當業者ト關係當局  
ノ間ニ協議ヲ試ミテ見タヤウナコトモゴザ  
イマスケレドモ、マダ具體的ノ成案ヲ得ル  
マデニハ今日至ッテ居リマセヌ、此處デ發表  
ヲシテ御話スルヤウナモノハ出來テ居ナイ  
ノヲ甚ダ遺憾ト思ヒマスノデアリマス、今  
後速ニ考究ヲ進メテ見タイト考ヘテ居ル次

第デアリマス

○絲原武太郎君 生産統制ニ付キマシテ考

ハマスルノニ、内地ニ付キマシテモ相當考  
慮ヲ要スル場合ハ前申上ゲマシタ通りデア  
リマスガ、殊ニ外地ノ朝鮮等ニ於キマシテ  
ハ、最モ此點ニ付キマシテ此際格別ノ注意  
ヲ要スルコト考ヘル、然ル故ニ朝鮮ニ於  
キマシテハ、内地ニ於ケル米穀ノ生産狀況  
竝ニ外地カラ移入シマス所ノ米穀ノ關係ニ  
於キマシテ、ソレ等ヲ通ジマシテ過剩ノ狀  
態ヲ今日齎ラシテ居リマスルガ、之ニ適應  
シマシテノ政策ヲ執ラネバナラスト云フコト  
ガ考ヘラレルノデアリマス、此際朝鮮ノ産  
米増殖ヲ打切ツテ、其他ノ代作即チ産棉増殖  
トカ其他徹底シタ計畫ヲセラレテ、イソ朝  
鮮ニ於ケル産米増殖ノ計畫ハ打切ラレルヤ  
ウナ御意思ガアリマスカドウデスカ

○政府委員(今井田清徳君) 朝鮮ノ産米増

殖計畫ニ付キマシテハ、將來新規ナ事業ハ  
見合セタイ、政府ガ補助ヲ與ヘマシテ支出  
スル所ノ産米増殖計畫ハ、新規ナモノニ付  
キマシテハ將來之ヲ當分ノ間見合セタイ、  
即チ今日ノヤウナ狀況ニアリマス間ハ見合  
セタイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、併シ  
既ニ工事ニ着手イタシテ居リマスル分ニ付  
キマシテハ種々ノ狀況ニ鑑ミマシテ、之ヲ

繼續スルモ已ムヲ得ナイモノト考ヘテ居ル

次第デアリマス、尙ホ又代作獎勵等ニ付キ  
マシテテハ、先程農林大臣ヨリ御答ヘニナ  
リマシタ通り、種々調査ハ致シテ參ッタノデ  
アリマス、又米穀對策ト云フ意味カラノミ  
生ジタ譯デアリマセヌガ、棉作ノ獎勵等  
ニ付キマシテモ先年來相當ノ助成金ヲ出シ  
マシテ、極力之ヲ獎勵イタシテ居ルノデア  
リマシテ、是等ノ結果ニモ鑑ミマシテ、將  
來米作ヲ新シク轉換スルト云フコトニ付キ  
マシテモ考究ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第  
デアリマス

○絲原武太郎君 次ハ朝鮮ニ於ケル米ノ消

費ノ狀況ヲ見マスルノニ、人口ガ年々増加  
シマスルニ拘ラズ、朝鮮ニ於ケル米ノ消費  
ハ反對ニ年々減少シテ居ルヤウニ考ヘラレ  
マス、一例ヲ申上ゲマスト、是ハ果シテ此  
數字ハ確實ナモノデアアルカドウカ分リマセ  
ヌケレドモ、農會方面ノ調査ニ依リマスル  
ト、大正七年カラ大正十一年マデニ於ケル  
五箇年ノ平均ハ、生産ガ一千四百四十四萬  
四千石デアリマシテ、内地ニ移入シテ居リ  
マス數量ハ二百五十四萬八千、而シテ朝鮮  
ニ於ケル自然消費シタ在米カ分リマセヌ  
ガ、兎ニ角其消費シタ數量ガ一千六百八十  
四萬六千、大正十二年カラ昭和二年マデニ

至ル所ノ五年間ノ平均ノ生産ガ一千五百

十五萬三千石、内地移入數量ハ四百四十  
九萬五千石、而シテ朝鮮デ消費サレマシタ  
數量ハ千九萬四千石、次ニ昭和三年カラ  
昭和七年ニ至リマス五箇年ノ平均數量ヲ見  
マスルト生産千五百七十二萬二千石、内地  
移入ノ數量ガ六百五十九萬石、差引朝鮮ニ  
於テ消費スル所ハ九百十三萬二千石、斯様  
ナ數字ガ示サレテ居リマス、之ヲ見マスル  
ト年々生産ハ増加シ、消費ノ方ハ追々減少  
スル、斯ウ云フ現象ニ相成ル、朝鮮ノ農業  
ガ追々進歩發達スルト云フコトニナリマス  
ルト勢ヒ内地ニ向ッテ、是コソ洪水ノヤウニ  
入ッテ來ナケレバ始末ノ付カナイコトニ相  
成ルノデアリマス、付キマシテハ前段ニ於  
キマシテ外地ノ米ハ外地デ始末スルヤウナ  
方法ヲ御探リニナル御考ヘハアリマセヌカ  
ト云フコトヲ伺ッタノデゴザイマスルガ、兎  
ニ角外地ニ於テ今少シク食料其他ニ消費ノ  
方法ヲ講ゼラレルコトガ最モ必要ト思フノ  
デゴザイマス、此點ニ於キマシテハ現在朝  
鮮方面デハ如何ヤウナ狀態ニアリマスル  
カ、伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(今井田清徳君) 朝鮮ニ於キマ

シテ消費量ガ大體ニ於キマシテ年々減ル傾向  
ノアルコトハ統計ノ上ニ現ハレタ數字ニ付  
キマシテハ御話ノ通りノ結果ガ現ハレテ居  
ルノデアリマス、ソレ等ノ原因ニ付キマシ  
テハ勿論財界ノ好況、不況、年ノ豊凶等ニ  
因リマシテ異ナルコトト存ズルノデアリマ  
スガ、大體ニ於キマシテ減少ノ傾向ヲ持ッテ  
居リマス、之ニ付キマシテハ今日ノ米穀事  
情ニ鑑ミマシテ朝鮮ニ於キマシテモ出來ル  
ダケ米ヲ消費シタイト云フヤウナ方針ヲ以  
チマシテ朝鮮内ニ於テ消費サレ、又滿洲方  
面カラ多量ニ輸入セラレテ居リマス代用食  
ノ粟ノ關稅ヲ高メマシテ幾分デ粟粟ニ代  
ルニ米ノ消費ヲ以テシタイト、又直接ニ米ノ  
消費ヲ殖ヤシタイト、ソレガ爲ニハ細民ニ他  
ノ代用食ヲ止メル爲ニ負擔ヲ過重セシメナ  
イ範圍ニ於キマシテ、米ノ消費ヲ勸メタイト  
ト云フヤウナ考ヘヲ以チマシテ、穀ノ現物  
ヲ極ク低利ニ細民ニ貸與ヘマシテ、サウシ  
テ他ノ代用食ニ代フルニ米ヲ以テスルト云  
フヤウナ方法ヲ採ッテ居ルノデアリマス、何  
レモ非常ニ著シイ效果ヲ直ニ擧ゲルト云フ  
譯ニハ相成ッテ居リマセヌガ、左様ナ種々ノ  
方面ニ於キマシテモ既ニ相當施設ヲシテ  
參ッタノデアリマス、今後尙ホ只今申シマシ  
タヤウナ施設以外ニ於キマシテモ朝鮮内ニ  
於テ食料品トシテ或ハ其他ノ方途ニ米ヲ消  
費スルコトニ付キマシテハ、十分ニ研究イ

タシタイト考ヘテ居リマス、唯先程朝鮮内

ニ於テ出來タ米ハ全部朝鮮内デ始末スルヤ

ウニト云フヤウナ御話ガアツタノデアリマ

スルガ、朝鮮ト致シマシテハ今日産業上米

ガ最モ重要ナル生産物ニナツテ居リマシテ、

之ヲ年々内地ニ移出イタシマシテ、ソレニ依ッ

テ得タル所ノ收入ニ依ッテ内地カラ多クノ

雜貨ヲ移入シテ居ルト云フ狀況デゴザイマ

スカラシテ、鮮内ニ於テ他ノ方途ニ之ヲ始

末スル爲ニ著シク不利益ヲ蒙ルト云フコト

ニナリマス云フト、今日ノ内地外地ノ移

出入ニモ惡影響ヲ及ボスト云フコトニナラ

ウト存ジマス、ソレ等ノ各般ノ狀況ヲ考慮

イタシマシテ只今ノ此趣旨ニ付キマシテハ

今後十分ニ研究努力イタシタイト考ヘテ居

リマス

○絲原武太郎君 餘リ長クナリマスカラ私

ハ一應之デ打切りマシテ更ニ……

○上山滿之進君 チョット私ハ先刻ノ質問

ニ關聯シテ政府ニ要求シタイ、先刻申述ベ

マシタ昭和九年度米穀需給ノ私ノ計算ノ中

デ、昨年十一月カラ本年ノ二月迄ノ四箇月

間ニ於ケル需要供給ノ關係ノ數字ヲ申上ゲ

マシタ、是ハ私全部政府ノ統計ニ依ツタ積リ

デアリマス、多分間違ナイト思ヒマスガ、

之ヲ一應御調べヲ願ヒタイ、ソレカラソレ

ニ續ケテ三月カラ十月迄ノ需給ノ豫想ノ計

算モ願ヒタイ、隨分將來ノ需給ノ豫測ヲス

ルコトハ困難デアルコトハ私モ自分デ經驗

モシテ居リマセヌケレドモ、一通リ需給ノ

計算ガ出來ナケレバ又何モ考ヘラレヌト云

フコトニナルノデ已ムヲ得ズ困難ヲ忍ンデ

需給ノ計算ヲ吾レ人共ニスルノデアリマ

ス、政府ハ九年度米穀需給ノ推算ヲ三月一

日ノ在米高ノ分ル前ニ既ニ衆議院デ説明サ

レタノデアリマスガ、本院ニモ今年ノ三月

一日ヲ基礎ニシタ此見込ヲ御提出ヲ願ヒタ

イ、唯朝日新聞ニ出テ居リマス端境期ノ持

越米實ニ千六百萬石トシテアルノデアリマ

スガ、何ダカソレハ政府ノ今日ニ於ケル御

推測ト合フヤウニ思ハレル、是ハ誠ニ困ル

ノデ、消費ノ見込高ガ四千五百何十萬石ト

云フ計算ガ前年同期間ノ消費ニ對シテ人口

増加ニ因ル消費額ヲ加ヘテ出シタノデアリ

マス、是ハ御斷リシテ置キマスガ、是ハ駄

目ナンデ、過去ノ四箇月ヲ基礎トシテ此後

ノ八箇月モ計算サレナケレバナラス、但シ

後ノ八箇月ノ中デ過去ノ四箇月ニ消費シタ

ヨリハ或ハ多クナリ、或ハ少クナルト云フ

見込ノモノガアレバ、其見込ヲ付ケテ之ヲ

差引キスルナリ、又ハ増加スルナリシテノ

計算デナケレバ役ニ立タヌ、過去ガ一箇月

一人當リ一石一斗一升五合ト云フモノヲ將

來ニ於ケル八箇月ニ對シテハ例ヘバ一石五

升トカ一石九升トカ云フモノニサレタノデ

ハ何ニモ譯ガ分ラヌノデアリマス、ソレデ

過去ニ於テ是ダケ消費シテ居ツタ、將來ハ是

ヨリ増スデアラウトカ減ルデアラウトカ云

フ御見込ガ立テバ此御見込ガ立ツ理由ヲ

明カニシテ貰ヒタイ、例ヘテ申セバ過去ノ

一石一斗一升五合、此中ニハ酒造米ガ含マ

レテ居リマスカラ其酒造米ハ無論計算ヲシ

テ除カナケレバナラス、將來ノ八箇月ノ消

費ノ量ニハ入レテハナラヌノデアリマスカ

ラサウ云フヤウニ大キナ數量デ、的確ナル

理由ガアルモノハ別トシテ唯何カナシニ前

年ノ同期ノ消費量ニ、今年ノ人口ノ増加ニ

依ル消費ヲ加ヘタノデヤ意味ヲナサヌノデ

アリマス、此意味デ本年ノ需給推算ヲ御提

出ヲ願ヒタイ

○政府委員(荷見安君) 今ノ御話ノ點ハ、

御話ノヤウナ組立ニ依ツテソレデヤ作ツテ見

マス、唯私共ガ是迄作リマシタ需給ノ推算

ハ隨分久シイコト此一人當リ消費額ト云フ

モノヲ以チマシテ、ソレデ推算イタシマシ

タノデス、トコロガ人口ノ統計ガ五箇年ニ

一遍カ出來マス、其結果其間ノ増加歩合、

將來ノ増加歩合ガズツト違ヒマシテ、其度其

度ニ御承知ノヤウナ要覽ノ一人當リ消費額

ヲ改訂イタスヤウナコトニナリマスノデ、却

テ過去十五箇年位ノ趨勢カラ見マシタ消費

増ノ歩合ト云フヤウナモノヲ出シマシテ、

ソレデ取ツタ方ガ宜カラウカト思ツテ、最近

一二年ソレヲ試ミテ居リマス、ソレカラサ

ウ云フ分モ一ツ作ツテ御目ニ掛ケタラドウ

カト思ツテ居リマス、唯私共ノヤリ方ガチ

ヨットモウ一人當リ消費ヲ使ハズニヤツテ居

ル方法ヲヤツテ居リマスモノデスカラ、ソ

ダケ御含ミヲ願ヒタイ

○上山滿之進君 誠ニ結構デ、新シイ方法

ガ發見サレルト云フコトハ結構デアリマス

カラ、是ハ私モ喜ンデ戴キマスシ、又此間

題ヲ根柢的ニ研究シヤウトスルニハ、サウ

云フ色ミナ調査ノ方法ガ必要デアリマス、

ケレドモ前ト現在ト……過去ト現在ト將來

トヲ比較シヤウトスルノニハ、大體其調査

ノ方法ガ同ジデナケレバナラス、ソレデ是

ハ惡イト云フノデヤアリマセヌケレドモ、

在米調ニシテモ、實收高調ニシテモ、調査

ノ方法ヲ御變ヘニナツタラ非常ニ面倒ガア

リマス、是ハ變ヘタノガ惡イト云フノデヤ

ナイ、良クナツタカラ宜イケレドモ、實ハ時

ガ惡イノデ、天道様ガ斯ウ云フ豊作ニシタ

年ニソイツガ出テ來タモノダカラ、誠ニ始

末ニ了ヘナイ、是ハ仕方ガナイノデス、良  
イコトダカラ仕方ガナイケレドモ困ル、ソ  
レデ今ノ御話モドウゾ過去ノヤリ口ニ依ッ  
テ、詰リ過去ト現在ト將來トヲ對比シテ見  
ルコトノ出來ルヤウナ…：簡單ニ對比シテ  
見ルコトノ出來ルヤウナ風ノモノヲ要求ス  
ル、其外學問的ニ研究ヲスル爲ニ斯ウシタ  
ラ宜カラウ、アアシタラ宜カラウト云フモ  
ノガ御有リナラバ有難ク受ケテ置キマス  
レドモ、主トシテ要求スルノハ從來ノ調査  
報告ト云フコトデアリマス、ドウゾ…

○長岡隆一郎君

私モ材料ヲ亦御願イタシ

タイノデスガ、先程二三ノ御願ヲ致シテ置  
キマシタ、今絲原サンカラノ質問應答ノ時  
ニ伺ッテ居リマシタガ、將來ニ於ケル過剩米  
ノ新消費方法ヲ御研究ニナルト云フコト、  
既ニ相當ノ豫算ヲ御計上ニナッテ居ルヤウ  
デスガ、是ハナカノムヅカシイコトダラ  
ウト思フノデス、殊ニ米ガ國際的商品ニ非  
ズシテ主トシテ國內消費サレルモノデア  
ルト云フコトガ惱ミノ種ニナッテ居ルデス  
ガ、今マデ海外ニ此内地及ビ外地ノ米ヲ輸  
出サレタ總額、輸出先ト云フモノガドノ位  
アリマスガ、是ハモウ秘密ニサレテ居ルト  
云フ話モ聽キマスガ、秘密ナラバ秘密ト云  
フコトノ取扱ニシテ、餘所ニ洩ラサスト云

フコトノ條件デ御話ヲ願ヒタイ、ソレカラ  
モ一ツ、此總理大臣ガ、二月二十三日デゴ  
ザイマシタカ、衆議院ノ豫算總會デ朝鮮及  
ビ臺灣ニ各特別會計ヲ設ケテ米穀ノ需給調  
節ヲ圖ルト云フコトヲ御言明ニナッタノガ、  
其後色ミノ御事情デ御沙汰止ミニナッテ、此  
米穀特別會計、即チ内地人ノミノ負擔ニ依  
ル特別會計ニ依ッテ朝鮮米臺灣米ヲ御買上  
ゲニナルコトニマア變テ來タ、其事ヲ兎ヤ  
斯ウ言フノヂヤアリマセヌガ、其理由ノ一  
ツトシテ臺灣米ハ貯藏ガ困難ダカラ云々ト  
云フ御言明モアツキヤウデシタガ、是ハ其特  
別會計ノ問題ヂヤナイノデ、臺灣ニ於テ貯藏  
スルトスレバ、臺灣ノ特別會計ニシテ貯藏  
スルニセヨ、内地ノ特別會計ニシテ貯藏ス  
ルニセヨ、同じ事デアツテ、是ハ理由ニナラ  
ヌト思フノデス、モウ一ツノ理由トシテ、  
特別會計ヲ更ニ二ツ設ケルト事務費ガ非常  
ニ掛ルト云フコトデ以テ、事務費ガ増加ス  
ルト云フコトヲ方針ノ御變更ノ一ツノ  
理由ニ數ヘテ居ラレタノデスガ、私共ハサ  
ウ實ハ考ヘナイノデスガ、各特別會計即チ  
朝鮮臺灣ニ特別會計ヲ設ケテ實行スルトセ  
バ其事務費幾何、今回ノ新シイ、變更サレ  
タ御方針ニ依ッテ内地人ノ負擔ニ依ル米穀  
特別會計ニ依ッテ朝鮮米、臺灣米ヲ假ニ貯藏

スルトスレバ其事務費如何、此兩者ノ事務  
費ノ比較ヲ一ツ至急御廻シテ願ヒタイ、ソ  
レダケ御願イタシマス

○國務大臣(後藤文夫君)

只今ノ御要求ノ

調ベガ出來マスレバ差上ゲテモ宜シイと思ヒ  
マスガ、餘リ細カイ調ベハドウダツタカト思  
ヒマス、細カナ調ベガ出來テ居リマスガ、  
ドウデスカ、御話ニナリマシタ色ミナ經過  
ヲ審議中ニハ經テ居リマスケレドモ、政府  
部内デモナンデアリマスガ、最後ノ結論デ  
具體的ナ案ガ出テ譯デスカラ、若シ差上ゲ  
ラレル材料ガアレバ差上ゲマス、ソレデ今  
御話ニナツク内デチヨット申上ゲテ置キタイ  
ト思フ、特別會計ヲ朝鮮臺灣ニ設ケルト云  
フコトヲ總理ガ話サレタ時ノ特別會計ハ、  
實ハ朝鮮ノ特別會計ノ中デト云フコトデハナ  
クシテ、別個ニ矢張りサウ云フ特別會計ヲ  
二ツ設ケルト云フ意味デ御話ニナッタノダ  
ト思ヒマス、從テ内地ニ設ケル特別會計ノ  
増額ハ其負擔ノ歸スル所ガ内地ノ人ニ止マル  
ガ、朝鮮臺灣ニ特別會計ヲ設ケタ時分ニハ、  
一應朝鮮臺灣ノ…：他ノ一般ノ特別會計ト  
同じニ負擔ノ關係ガ臺灣朝鮮デ考ヘラレル  
ノダト云フ立前デハナカッタ、全部内地ノ負  
擔ニ於テスルト云フ特別會計トシテ初カラ  
考究サレテ居ッタモノダ、其點ヲチヨット申

上ゲテ置キマス

○長岡隆一郎君

其點ハ實ハ二月十三日ノ

豫算總會デハ明カニナッテ居ナイデスナ、ソ  
レデ首相ノ肚ノ中ニサウ云フ御考ガアツタ  
カモ知レマセヌケレドモ、我々國民トシテ  
ハサウ考ヘテ居ナカッタノデス、併シ其事ハ  
モウ過去ノコトデ、今議論シテモ仕方ガア  
リマセヌガ、兎ニ角モ事務費ノ増加ト云フ  
コトガ唯一ノ理由ニナッテ居ルヤウデスカ  
ラ、此方針ヲ變更サレルニ付テ、此事ヲ總  
理大臣ガ重ナル理由トシテ言ハレル以上  
ハデスネ、是ハモウ事務費ノ比較ト云フモ  
ノヲ御示シ願ハニヤナラスノデス、私ハ何  
レ材料ヲ總テ戴イタアトデ改メテ質問ヲ致  
シタイト思ヒマスカラ、質問ノ時ニ詳シイ  
コトハ申上ゲマス

○國務大臣(後藤文夫君) 只今ノ御要求デ  
アリマスガ、サツキチヨット私申上ゲマシタ  
ヤウニ、最後ノ決定案ト云フモノハ今御協  
贊ヲ願ッテ居ル案デアリマシテ、朝鮮臺灣ニ  
別個ニ特別會計ヲ設ケタ場合ノ事務費トカ、  
豫算ナゾノ計算マデハ出來テ居リマセヌデ  
ス、只今申シタヤウナ考ヘ方ノ一ツハ、即  
チ全體的ニ考ヘテ見マシテ、同じ特別會計  
ヲ三ツモ持ッテ居ッテ、朝鮮臺灣ニ特別會計ヲ  
設ケテ、是カラ新ニ米ナドヲ買入レ色ミナ

施設ヲアラウトシマスレバ、ドウシテモ新ニ事務費ガ要ルダラウ、内地ハ既ニ朝鮮臺灣ニ付テモ米ノ買入ヲスルコトニナツテ居リマテ、特別ニ朝鮮ニハ相當數量ヲ持ツテ居リマスカラ、既設調節以上ノ買入レヲシマスルニシテモ之ガ爲ニ格別ニ人手等ヲ増ストカ、施設ヲ餘計ニスルト云フ必要ハナイノデ、人員ヲ少シ増シマスレバ、既ニ二百萬石近くノ米ヲ買ツタリ何カシタ經驗ヲ持ツテ居リマスカラ、モウ大シタコトハナイダラウ、ソレヲ新ニ特別會計デ以テ新シイ機構デ、ソレダケノ仕事ヲヤルト云フコトニナリマスレバ、相當事務費ガ想像サレテ、極ク是ハ推測デ考ヘタ比較論ナノデアリマス計算ヲ作レトカ、新ナル特別會計ヲ設ケタ場合ハ豫算ハドウナルト云フコトハ、成ルベクナラバ御勘辨ヲ願ヒタイ

○長岡隆一郎君 ソレハ議論スル譯デアリマセヌガ、實ハソレハ意外ニ承ル、兎ニ角總理大臣ガ衆議院ニ公約サレタ方針ヲ御變更ニナツタ、閣内ニ如何ナル事情ガアルカソレハ別トシテ、ソレノ最モ主ナ原因ガ事務費ノ増加ニアルト云フ以上ハ、特別會計ヲ二ツ餘計ニ設ケルコトニ依ツテ、負擔ヲ何レニスルカト云フコトハ是ハ別デス、是ハ別トシテ、特別會計ヲ二ツ設ケルコトニ依ツテ事務費ガ非常ニ増大スルカラ方針ヲ變ヘタイト言ツテ居ラレタ以上ハ、是ハ常識上、事務費ノ比較ト云フノハ御研究ニナラニヤナラヌ筈ト思ヒマス、唯空ニ想像ニ依ツテ、アレダケノ大方針ヲ御變ヘニナツタ理由ニハナラヌト思ヒマス、私等常識デ考ヘルト、内地ニ入ッテ來タ朝鮮米ヲ御買上ゲニナレバ、是ハ今ノ御話ノ通りデアリマセウ、併ナガラ先程倉庫ノ御話カラ推測シマスト、外地ニ於テモ外地米ヲ御買上ゲニナルト云フ以上ハ、農林省ノ御役人ガ御出張ニナツテ、駐在ニナツテ居ル方モアルカモ知レマセヌガ、サレルヨリモ朝鮮總督府ノ方ガナサレタ方ガ却ツテ事務費ハ安イノデハナイカト云フ考モスルシ、唯漠然事務費ガ掛ルダラウト云フコトデ變更サレタノダ、ソレニ對スル計算ノ基礎ハナイ、要求ガアレバ是カラ新シク作ルノダト云フナラバ是ハ机上ノ計算ダケデ、何モ益ガアリマセヌガ、衆議院ニ於ケル首相ノ辯明、首相ノ辯明ト云フモノハ、甚ダ根據ガ薄弱ナモノヲ以テサレタモノデアルト云フ印象ヲ殘シテ問答ヲ打切ルヨリ外ナイノデアリマス

トニ依ツテ事務費ガ非常ニ増大スルカラ方針ヲ變ヘタイト言ツテ居ラレタ以上ハ、是ハ常識上、事務費ノ比較ト云フノハ御研究ニナラニヤナラヌ筈ト思ヒマス、唯空ニ想像ニ依ツテ、アレダケノ大方針ヲ御變ヘニナツタ理由ニハナラヌト思ヒマス、私等常識デ考ヘルト、内地ニ入ッテ來タ朝鮮米ヲ御買上ゲニナレバ、是ハ今ノ御話ノ通りデアリマセウ、併ナガラ先程倉庫ノ御話カラ推測シマスト、外地ニ於テモ外地米ヲ御買上ゲニナルト云フ以上ハ、農林省ノ御役人ガ御出張ニナツテ、駐在ニナツテ居ル方モアルカモ知レマセヌガ、サレルヨリモ朝鮮總督府ノ方ガナサレタ方ガ却ツテ事務費ハ安イノデハナイカト云フ考モスルシ、唯漠然事務費ガ掛ルダラウト云フコトデ變更サレタノダ、ソレニ對スル計算ノ基礎ハナイ、要求ガアレバ是カラ新シク作ルノダト云フナラバ是ハ机上ノ計算ダケデ、何モ益ガアリマセヌガ、衆議院ニ於ケル首相ノ辯明、首相ノ辯明ト云フモノハ、甚ダ根據ガ薄弱ナモノヲ以テサレタモノデアルト云フ印象ヲ殘シテ問答ヲ打切ルヨリ外ナイノデアリマス

○國務大臣(後藤文夫君) 他ノ政府委員カラ申上ゲマス

○政府委員(賀屋興宣君) 只今ノ御質問ニ

付キマシテ、當時研究イタシマシタ經緯ヲ多少申上ゲテ見タイト思ヒマス、朝鮮、臺灣……

○長岡隆一郎君 ナケレバナイデモ宜シウゴザイマス

○政府委員(賀屋興宣君) ナイト云フノハ、全然空デモナイノデアリマス、特別會計ヲ設ケルコトトシテ、拓務省デモ研究ニナリマシテ、ソレハ成案デハアリマセヌガ、ソレカラ尙ホソレヲ只今比較シテ提出イタスコトガ不適當ダト思ヒマスノハ、其賣買契約、其他ガ、其時拓務省ガ立テラレタモノト、今政府ガ提出シタノハ、必シモ同一デハナイノデアリマス、ソレカラ我ミ考ヘマシテモ、朝鮮ハ朝鮮、臺灣ハ臺灣デヤラレマスト、朝鮮ハ朝鮮ノミデナク、朝鮮、臺灣内地、合セマシタ各方面ノ其全體ノ需給ヲ考ヘマシテ、サウシテ朝鮮デ之ヲ幾ラ買上ゲルト云フヤウニ一應考ヘナケレバナリマセヌ、臺灣モ同ジコト、内地モ同ジヤウニ考ヘル、サウシテ其三ツガ合サツテ色ミ交渉シテ全體ノ考ガ決マルト云フコトニナリマスガ、サウ云フ場合ニ内地一ツダト、大體一ツデ行クト云フコトダト、常識カラ申シマシテ相當ソコラノ點ハ影響モアルヤウニ考ヘラレマス、チヨット是

ハ我ミノ常識デアリマスガ、ドウシテモ物價ガ上リマスレバ餘計經費ガ要ルト云フ關係デ、一應未定ナノデアリマスガ、朝鮮、臺灣デ假ニ立テラレタ案ヲ見マシテモ、隨分餘計掛ルノデス、全ク今度ノ案ト同ジモノヲ三ツニ分ケテヤルト云フノハ今計算シテ居リマセヌガ、ソレガ相當餘計掛ルト云フノハマア何ト申シマスカ、色ミ經費ヲ組ミマス時ノ感ジカラ申シマシテ、是ハ間違ヒナイコトト考ヘテ居リマス

○長岡隆一郎君 ソレハ一應ノ御辯明ニハナリマスケレドモ、私ハ今日ハ質問シテ居ルノデヤアリマセヌカラ敢テ議論ガマシイコトハ言ヒマセヌガ、拓務省デ調ベタモノガ經費ガ多ク掛カルト云フコトハ無理ハナイノデ、拓務省ハ特別會計ヲ別ニスルコトハ反對ナノデスカラ、何レ不利益ナ材料ヲ出スニ違イナイ、ダカラ其材料ヲ見レバ事務費ガ餘計掛カルト云フコトノ根據ヲ打破リ得ルト思ツタノデスガ、今ノヤウナ御話デ、三者別々ニヤレバ聯絡ガ取レヌト云フコトハ是ハ甚ダ今日マデノ成行キノ、我ミノ不滿ナ點ヲ裏書キシテ居ルノデ、政府部内デ特別會計ガ三ツニナツテモ、能ク御打合せニナレバ執行ガ區々ニナル筈ハナイ、如何ニ拓務省ト農林省ノ間、若クハ朝鮮ト臺灣ト農林省ノ間

影響モアルヤウニ考ヘラレマス、チヨット是

影響モアルヤウニ考ヘラレマス、チヨット是



ニ意思ノ疎通ヲ缺イテ居ルカト云フコトヲ裏書キサレルヤウナ不満足ヲ答辯ト思ヒマスケレドモ、併シ今ノヤウナコトデアレバ私ノ要求シタ第二ノ書類ト云フモノハ執拗ク要求ハ致シマセヌ、ソレデ宜シウゴザイマス

○三井清一郎君 移入調節ハ結構ナコトデアリマスガ、此前三米穀統制法ノ第八條、第九條ガ、朝鮮臺灣等ニ實施ニナツテ居ル、果シテ此第八條、第九條ノ粟、黍ノヤウナ物ノ移入ヲ制限セラレテ居リマスカドウカ、拓務省ノ政府委員デモ、或ハ朝鮮總督府ノ政務總監デモ宜シウゴザイマス

○政府委員(北島謙次郎君) 粟ニ付キマシテハ去年ノ五月カラデアツタカト記憶シマスガ、或ハ四月デアツタカモ知レマセヌ、百斤ニ付キマシテ基本税率五十錢、ソレニ三割五分ノ附加税ガ課カテ居リマシテ、總計イタシマシテ六十八錢カ七錢カニナツテ居リマスガ、ソレヲ去年ノ四五月以來百斤一圓ト云フコトニ致シマシテ現在引上ゲテスルコトニナツテ居リマス、只期限ガ本年三月三十一日迄ト云フコトニナツテ居リマシテ、更ニ今年ノ四月一日以後トスルカト云フコトニ付テハ目下協議イタシテ居リマス

○三井清一郎君 サウスレバ移入ノ制限

ヲ、關稅デ移入ヲ自然ニ押ヘル、斯ウ云フ措置ヲ御取リニナツテ居ルノデアリマスガ、關稅率ヲ上ゲテ移入ヲ制限スルト……

○政府委員(北島謙次郎君) 移入制限ト云フト語弊ガアルカモ知レマセヌガ、要スルニ移入税ノ税率ヲ多少引上ゲテ、サウシテ多少ナリトモ粟ノ關稅ガ上リマスト米ノ消費ヲ増加スルコトニナルデアラウト云フ積リデサウ云フコトニ致シマシタ

○三井清一郎君 私ノ御尋ネシタイノハ既ニ米穀移入調節法ヲ政府ガ御定メニナツテ、外地米ノ爲ニ内地米ガ價格其他ニ於テ壓迫ヲ受ケナイヤウニ御考慮ニナリ、既ニ昭和八年三月ニ法律ニ出マシタ所ノ米穀統制法ノ第八條、第九條デ粟、高粱又ハ黍ノ移入ヲ制限スルコトヲ得ト、是ハ朝鮮臺灣等ニ實施スルコトニナツテ居リマスカラ、單ニ只税率ヲ少シ上ゲタノデハ、朝鮮ノ如キハ御承知ノ粟ヲ喰フテ生活シテ居ル、此消費方面ニ於テノ調節ハ少シモ取レテナイト云フ感ジガ致シマスガ、政府デ一方ニ移入調節ヲ御實行ニナルト同時ニ、消費方面ニ於テモ移入ヲ制限スル御考ガアリマスカ

○國務大臣(後藤文夫君) 只今政府委員カラ御答イタシマシタヤウニ、第九條ニ依ラテ移入税ノ増加ト云フコトヲ今實施イタ

シテ居リマシテ、ソレデ之ヲ明年度モ繼續スル方針ニ致シテ居リマス、第八條ノ移入制限ノコトニ付キマシテハ又今年實施ヲ致シマスカドウカト云フコトハ何等決定ニ相成ツテ居ラナイノデアリマス

○三井清一郎君 昨年此法律案ガ出マシタ際ニ、私ハ此條文ヲ見テ、朝鮮ノ市場ニ入ッテ來ル……滿洲カラ入ッテ來ル粟ヲ制限サレタナラバ餘程朝鮮ノ増産計畫ニナツテ米ガ非常ニ出來ルガ、之ガ内地移入米ヲ減ズルト云フ考ヘデ居ッタノデアリマスガ、然ルニ是ガ御實施ニナラナイ、又今後ニ於テ移入調節法案迄、非常ナ特別會計ヲ御作リニナツテ、米ヲ政府ガ買上ゲテ貯藏スル迄ノ決心ニナリ尙且ツ粟、高粱ト云フヤウナモノノ移入ヲ制限シナイト云フコトニナルト、單ニ法律制定ノ時ノ趣旨ガ非常ニ不明瞭ニナルヤウニ考ヘマスガ、矢張り政府デハ移入制限ハ法律ニハ明文ハアルケレドモシナイ、斯ウ云フ御決心ナノデアリマスカ

○國務大臣(後藤文夫君) 政府ニ於キマシテハ第八條ノ實施ヲ將來イタサナイト云フ考ハ有ツテ居ル譯デアリマセヌノデ、唯只今ノ所デハ九條ニ依ル移入税ノ増徴ニ依リマシテ、相當ノ調節ガ出來ルダラウト云フコトデ立法イタシテ參ツテ居リマスガ、其推移

ヲ見テ若シ必要ガアレバ第八條ハサウ云フ場合ニ處スル爲ニ設ケテアリマスノデ、只今ハマダサウ云フ所迄致スト云フ決定ヲ致シテ居リマセヌト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○三井清一郎君 御迷惑デアリマセウガ、朝鮮ノ方カラ粟ガ昭和八年ニドレダケ……最近三四年間ニ移入ヲサレ、ドレダケ消費サレタカ、ソレカラ税率ヲ高メタ結果ドレダケ減ツタト云フ調ベガ出來マシタナラバ、今日デナクテモ宜シウゴザイマス、次ノ機會ニ於テ御答ヲ願ヒタイ

○政府委員(北島謙次郎君) 只今ノ御尋ネニチヨット分ツテ居ルコトダケ御答申上ゲテ置キマス、移入額ハ昭和八年ガ百四萬六千石、昭和七年ガ百五十八萬石、其前ノ六年ガ百一萬五千石、昭和五年ガ百七十一萬七千石、ソレ以前モ大體百五十萬石カラ最高二百六十萬石ト云フ風ニナツテ居リマス、ソレカラ消費ノ分モ分ツテ居ル筈デアリマスガ、チヨット後デ探シテ申上ゲマス

○三井清一郎君 我々ハ過去ノ此米ノ生産消費關係ニ付テ多少研究シテ見テ居リマスガ、此消費方面ニ付テモウ少シ注意スル必要ハナイカト感ジテ居ルノデアリマス、御承知ノ原内閣當時デアリマスガ、米騒動ガ

第四部第二五類 臨時米穀移入調節法案特別委員會議事速記第一號 昭和九年三月二十三日 貴族院 一七

アテ七十二圓ト云フ高價ヲ現シタ時ニ米  
 ガ其前年度デシタカ、農商務大臣ガ外米管  
 理ヲシナイ、中止スルト云フヤウナ議會デ  
 御話ガアツカト思ヒマスガ、サウ云フコト  
 ガ響イタ爲カドンドン米ガ騰ガツテ、米ガ騰  
 ルニ從ツテ消費者ハ安イ内ニ買ツテ置カウ、  
 モット高ク騰ガルカラト云フノデ各家庭、消  
 費者ハ一斗取ルモノヲ二斗モ五斗モ取ルト  
 云フヤウニ取ツテ置イタガ爲ニ米騒動ガ終ッ  
 テ愈、端境期ニナツテ見ルト、全國ノ持ッテ  
 居ル米ガ五百萬石モ餘ツタト云フ滑稽ナ話  
 ガアリマシタ、ソレデ政府ノ發表スル所ノ  
 豫想ダトカ若クハ繰越高ト云フヤウナモノ  
 ハ非常ニ米ノ相場ニ影響スルノミナラズ消  
 費者ノ頭ヲ刺激スルノデアリマスカラ、是  
 ハ餘程私ハ正確ヲ要スルト考ヘル、ソコデ  
 政府デ此消費方面ヲ閑却シテ單ニ生産方面  
 バカリ制限スルト云フコトハドウデアラウ  
 カ、無論此朝鮮政務總監ガ衆議院デ御答辯  
 ニナツテ、三百六十萬町歩ノ増産計畫ノ中百  
 五十萬町歩ハ實行シテ、二百萬町歩ハ延バス、  
 全然ヤラスノヂヤナイ、延バスト云フコト  
 ヲ御答辯ニナツテ居ル、私ハ此邊ノ御著意ハ  
 至極結構ダト思ヒマスガ、尙ホ消費方面ニ  
 付テ考ヘナケレバナラスト思ヒマスノハ我  
 我人類ノ胃袋ノ其働キガ決ッテ制限ガアル

以上ハ米ヲ食ヘナイデモ麵麩ヲ食ヒ若クハ  
 果物ヲ食ヒ、色々文化ノ進ムニ從ツテ食料  
 品ガ多種多様ニナツテ色々モノガ出來マ  
 スカラ昔ノヤウニ一人四合當リニ計算スル  
 トカ云フヤウナコトデ出スト云フコトハ私  
 ハ消費ノ計算上餘程考慮スベキモノト考ヘ  
 テ居リマスガ、政府モ是等ノ色々、他ノ食  
 料品、輸入品或ハ果物等ガ盛ニ栽培セラレ  
 ルヤウナ今日ニ於テ尙ホ時ノ如ク消費方面  
 ニ著意ナサレテ行ク御考デセウカ、之等ニ  
 付テドウ云フ考慮ヲ廻ラシテ居ラレルカラ  
 承リタイ

○政府委員(北島謙次郎君) 先程粟ノ消費  
 額ニ付テ御尋ネガアリマシタカラ、チヨット  
 御答ヘシテ置キマス、消費ノ總額ハ昭和六  
 年ニ於テハ是ハ朝鮮デアリマスガ、六百五  
 十八萬石見當デアリマス、一人當リノ消費  
 量ガ三斗二升五合、昭和七年ガ六百十七萬  
 四千石ト少シデアリマス、一人當リノ消費  
 額三斗三合、昭和八年ガ六百五十八萬六千  
 石、一人當リノ消費量ガ三斗一升九合ト云  
 フコトニ相成ツテ居リマス、ソレカラ此米  
 ノ消費ノ増進ヲ圖ル方策ト致シマシテハ只  
 今問題ニナツテ居リマス粟ト云フヤウナ  
 モノヲ或程度ニ於テ稅率ヲ引上ゲマシテ、  
 サウシテ多少ナリトモ米ノ消費ヲ増加イ

タシタイト云フノモ一方法デアリマスガ、  
 唯々御考ヲ願ツテ置キタイト存ジマスノハ  
 此粟ハ殆ド朝鮮ノミガ消費イタシテ居ル  
 ノデアリマシテ、而モ其輸出スル國ハ殆ド  
 全部、滿洲デゴザイマス、ソレデ從來ニ於  
 キマシテモ此粟ノ關係ニ於キマシテハ滿洲  
 ト朝鮮トハ非常ナ密接ナ關係ガアツタノデ  
 アリマスガ、去年稅率ヲ引上ゲマシタ關係  
 上、滿洲方面ニ於ケル粟ノ生産者ノ方々ニ  
 ハ矢張り相當ナ打擊ヲ與ヘテ居ルノデアリ  
 マス、然ルニ一方所謂日滿經濟關係ニ於  
 キマシテハ是ハ世上デモ色々問題ニナツテ  
 居リマスルヤウニ、日滿關係ノ所謂「プロ  
 ク」經濟ダトカ何トカ云フヤウナ、或ハ統制  
 經濟トカ云フヤウナ色々見地カラ、此日  
 滿親善ヲ圖ル必要ガアルト云フヤウナ非常  
 ニ強イ説モアリマス際ニ、米ノ爲ノ犠牲ト  
 ハ申シマシテモ、斯ウ云フ稅率ヲ上ゲルト  
 云フコトニ付テハ、滿洲方面トシマシテハ、  
 非常ニ苦痛ヲ感ジテ居ルノデアリマス、從  
 ヒマシテ之ヲ非常ニ著シク稅率ヲ引上ゲマ  
 シタリ、或ハ輸入若クハ輸入ヲ事實上非常  
 ニ制限シタリ禁止シタリスルヤウナコト  
 ハ、對滿洲國關係ニ餘程考ヘナケレバナラ  
 ヌ點モアルノデハナカラウカト云フ風ニマ  
 ア考ヘテ居ル次第デアリマシテ、米問題ノ

ミノ見地カラ、此粟ノ稅率ヲ非常ニ引上ゲ  
 タリ、或ハ其輸入額ヲ制限禁止シタリスル  
 コトハ、別個ノ見地カラ見マシテ、又果シ  
 テ適當カドウカト云フ風ノ多少、少シ疑ヒ  
 ノ點モナイデモナイト思ッテ居リマシテ、  
 サウ云フ點ヲ考慮イタシマシテ、色々目下  
 研究イタシテ居ル次第デアリマス、ソレカ  
 ラソレ以外ノ消費ノ増進ノ方策ト致シマシ  
 テハ、先程政務總監モ御述ベニナリマシタヤ  
 ウニ酒米ノ問題ダトカ、或ハ臺灣米ニ於キ  
 マシテハ、從來酒ノ專賣ナンカモ外國米カ  
 何カラ輸入シテ釀造ノ原料ニ使ツテ居ツタガ、是  
 モサウ云フコトハ此際避ケマシテ、外國ノ  
 輸入、外國ノ輸入ハ勿論一切禁止シテ臺灣ニ  
 生産セラレタ米ヲ原料ニシテ釀造ヲシタ  
 イト云フ風ニ考ヘテ居リマス、其外僅カ  
 ナ數量デアリマスルガ、米ノ粉ヲ原料ニ  
 シタ麵類、サウ云フ方面ノ消費ヲ増進イタ  
 シマシタリ、或ハ又ソレヲ支那方面ニ、或ハ滿  
 洲方面ニ輸出スルヤウナ策モ目下考ヘテ居  
 リマス、ソレカラ臺灣ノ方面ニ於キマシテ  
 ハ、又出來マスコトナラ、而モ國際關係上  
 大シタ支障ガナイト致シマスレバ、南支那  
 方面ニ米ヲ出來ルダケ輸出ヲ圖リタイ、サ  
 ウ云フヤウナコトモ考ヘテ居リマス、マダ  
 的確ナ非常ナ效果ガアル施設ハ今ノ所目星

イモノトシテ申上ゲル程ノモノガアリマセケレドモ、十分考究イタシテ見タイト云フ希望ヲ有ッテ居リマス

○三井清一郎君

今拓務省ノ政府委員ノ答辯ハ能ク了解イタシマシタガ、唯私ハ農林大臣ニ御聽キシタイノハ、此國民消費ノ一人當リヲ御決定ニナルノニ、日本ノ文化ノ進マナイ、米ヲ食ヒ、雜穀ヲ食フ、御承知ノ通り獻立ガ、副食物ガ不完全ナ時代、今日文化ガ進ンデ總テ主食品ヨリ、却テ副食物ヲ榮養ヲ攝ル、少量ニシテ榮養ヲ攝ッテ、健康ヲ増進スルト云フノ殊ニ臺灣、朝鮮ガ何シマシテカラハ、非常ニ日本デハ果物ヲ使フヤウニナッタコトハ御承知ノ通りデアリマス、モウ何レノ家庭デモ食後ニハ果物ヲ食ベヌ所ハナイ、是ハ健康上宜イト云フノデアリマス、從テ今迄三杯食ッタ者ハ二杯デ宜イト云フコトニナリマス、米ノ消費量ハ非常ニ減ルノデアリマス、是等ノ一人當リノ消費量ヲ御決定ニナルノニ、斯ウ云フ點ヲ御考慮ニ入レテオヤリ下サレテ居ルカドウカ、サウセヌト云フト、米ノ消費ノ計算ガ非常ニ差ガ出來テ使ハナイ米ガ餘計使フヤウナ計算ニナッタリ致シマス、斯ウ云フ點ヲ私ハ憂ヘルノデアリマス、是等ノ點ニドレ程ノ御考慮ヲ煩シテ御出デニナリマ

スカ、若シ御漏シガ出來ルナラ伺ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君)

文化ノ進ムト共ニ主食物ノミニ頼ラナイデ他ノ副食物或ハ嗜好物ノヤウナモノガ加ハル爲ニ、主食物デアル米ノ消費ニ影響サレルト云フヤウナコトヲ考慮ニ入レテ考ヘル必要ハナイノカ、サウ云フコトヲ考ヘテ居ルノカト云フ御尋ト存ジマスガ、ソレハ或程度ニ矢張りサウ云フコトガ考ヘラレルノデアラウカト思ヒマス、殊ニ麵麩、菓子類等ノ多ク消費サレルト共ニ米ノ消費ガ都會地等デハ幾ラカ影響サレルノデハナイカト云フヤウナコトモ考ヘラレヌノデアリマセヌガ、併ナガラドウモ經濟界ノ好況及ビ不況ニ依ル消費ノ増減ト云フモノガ矢張り著シイヤウニ存ジマス、ソレデ今後米ノ消費ノ趨勢ヲ考ヘマスル時ニ御話ノヤウナ點ヲ或程度ニ矢張り考慮ハ致サナケレバナラヌト思ヒマスルガ、ドウモ計算ニドウ云フ風ニ上ゲテ宜シイカ、又計算ニ上ゲル時ニ非常ニ影響ガ主食物ニ來テ居ルヤウニハ感ジラレテ居リマセヌノデアリマス、米穀總攬ナドニ現ハレテ居ル是マデノ計數ナドヲ見マシテモ、マダサウ云フコトヲ判斷スル十分ナ結論ヲ得ラレルヤウナ數字ガ上ッテ參リマセヌ、外ノ影響カラ來ル場合ノ消費ノ増減ガ大キイ

モノデアリマスカラ……併シ斯ウ云フコトハ常ニ考慮ノ中ニ入レテ將來ノ判斷ハ致シテ居ル必要ハアルト存ジテ居リマス

○三井清一郎君

サウ云フ點ヲ御考慮ニ入レテ戴クコトヲ希望シテ置キマス、ソレカラ此移入調節法案ガ特別會計ノ中ニ入ッテ、而シテ朝鮮ナリ獨立シタ特別會計ノ外地ニ出來ル産米ノ移入ヲ制限シヤウ……制限スルノデアリマセヌガ、買入レヤウ、斯ウ云フコトニナリマスガ、此點ニ付テ衆議院デ段々質問應答ガアッテ此速記録ヲ見マシテ拓務大臣ノ答辯モアリマスケレドモ、ドウモハッキリシテ居ナイ、總テ内地デ米ヲ買フト云フコトハ將來朝鮮ト内地トハモウ同一ノヤウナ經濟單位ニシテ行カウト云フヤウナ意味デアリマシタガ、先刻農林大臣ノ是ハ内地ノ米ノ調節ノ政策上ヤルノダカラ内地人ノ負擔ニ屬スル所ノ特別會計デ買入レルト云フ御話デ大體ハ了解シタヤウデアリマスルガ、拓務省ノ御意見ト農林省ノ御意見トハ少シ違フヤウデアリマス、根本ガ違ッテ居ナケレバ結構デアリマスガ、如何デアリマス

○國務大臣(後藤文夫君)

此問題ニ付キマシテ今御話ノアリマシタ買入レガ内地ノ米ノ需給調節ノ必要カラ生ジテ其趣旨デ移入

米ヲ調節スル爲ニ買上ゲテ行フノデアル、特別會計ヲ内地ノ特別會計ノ總額ニ於テ資金ヲ充實シテ參ル、此點デハ別ニ何ニモ意見ノ相違ガアルト云フ譯チヤゴザイマセヌ

○三井清一郎君

サウスレバ農林大臣ノ御答辯ヲ私ハ信賴シテサウ考ヘマス、次ニ朝鮮臺灣等ニ御買上ニナル約七百萬圓ト云フ此米ハ先刻ノ御答辯デハ、倉庫ニ十分ニ入ッテ居ナイト云フコトデアリマスガ、我ミノ經驗上米ハ成ルベク滿洲ヤ、朝鮮ノヤウナ乾燥シタ所ニ貯藏シタ方ガ貯藏減リガ少ナイノデアリマスカラ、無論農林省ニ於テモサウ云フ點ニ御注意アッテ、今度朝鮮ニドレダケ買上ゲニナルカ知レマセヌガ、買上ゲノハ内地ニ移入セナイデ、朝鮮デ相當建築ナドハ、ア、云フ乾燥シタ土地ハ、大シテ掛ラナイノデアリマスカラ、朝鮮デ建築サレテ、貯藏ニナルモノト思ヒマスガ、果シテサウ云フ御計畫ガアリマスカ、或ハ内地ヘ移入シテ來テ内地ノ倉庫ニ改メテ御貯藏ナサルノデスカ

○國務大臣(後藤文夫君)

朝鮮デ買上ゲマス米ハ出來ルダケ朝鮮デ貯藏シタイト云フノデアリマス、從テ必要ガアリマスケレバ、將來倉庫等ノ建設モ考慮シタイト思ッテ居リマス、此法律ハ買上ガ來年ノ三月末日マ

デト云フコトデ、臨時ノモノニナツテ居リマス、將來之ヲ永ク持越シテ置ク場合ハ米ノ貯藏ノコトヲ考ヘテ、今年カラ直グスルカドウカニ付テハッキリ決メテ居リマセヌ、出來ルダケ向フニ貯藏シテ置キタイ、萬一向フノ貯藏ノ具合ガ悪イ時ハ、内地ニ多少移シテ貯藏スルモノガアルカ知レマセヌガ、是亦季節朝鮮米等ノ買上等ヲ致シテ見マシテモ、大體朝鮮ハ米ノ貯藏ニハ適スルト云フコトハ能ク分ツテ居リマス、粃デ買上ゲタモノハ無論向フニ貯藏モ致シテ居リマス、只今ノ所直ニ大規模ニ朝鮮ニ建設ヲシテ行クト云フ程ノ計畫ハ持ツテ居リマセヌノハ、是ハ臨時法デアアル爲ニ將來此米ノ處置ノ如何ニ依リマシテハ、倉庫等ヲ朝鮮ニ建設シテ入レテ置クト云フコトニ考慮イタサナケレバナラヌカト思ッテ居ルヤウナ譯デアリマス

○三井清一 先刻拓務省ノ政府委員ノ御答辯中ニ、粟ヲ滿洲カラ輸入シテ居ル、日滿經濟統制上、或ハ經濟「ブロック」形成上、是モ餘程考慮シナケレバナラヌト云フ御答辯ガアリマシテ、至極私モ御同感デアリマス、私ハ此機會ニ於テ拓務大臣ガ居ラレレバ結構ト思ヒマスガ、併シ拓務省ノ政府委員ノ御答辯デモ満足シマスガ、今後ノ

日滿ノ「ブロック」形成ダノ、或ハ日滿經濟ヲ統制シヤウト云フコトニナリマス、私ハ滿洲ニ行ッテ見テ、矢張り農業國ダ、斯ウ見テ來タノデアリマス、此農業國ニ而モ拓務省ハ多數ノ日本移民ヲ滿洲ニ送ッテ居ル、其移民ハ皆第一著ニ何ヤルカト云フト、農民ノ特長ハ、米ヲ生産スルコトデアリマス、或ハ高粱ヤアル、豆ヤアル、滿洲ニ於ケル粟トカ、黍トカ、サウ云フヤウナモノニ付テハ却テ滿洲人若クハ朝鮮ガ得意デアリマシテ、直グニ日本ノ移民ガ水田ヲ開拓シテ米ヲ作ルト云フコトニナリマスルガ、此滿洲デ農産品食料品ガドソノ出來出シテ、サウシテ日本ガ必ズソレヲ受ケ容レナケレバナラヌト云フコトニナルト、矢張り植民地ニ、過去ニ於テ増産計畫ヲヤツテ其増産計畫ガ若干進ムト直グニ制限ヲシナケレバナラヌ問題ガ起ッテ來ルト同様ナコトガ起キハセヌカ、今日日滿經濟ヲドウスルカト云フ問題ノアル時ニ於テ、此根本ノ方針ヲ御立テニナツテ居ルコトト私信ズルノデアリマス、ドウモ此ヤリ方ガ矛盾ガ生ジハシナイカ、此矛盾ガ一旦生ジタナラ將來ニ非常ナ、國民生活ニ影響ヲ及ボシハセヌカ、ソコデ私ハ拓務省ハ日滿經濟統制ニ付テドウ云フ根本ノ御方針ヲ御持チニナツテ居ルカ、又日本

ノ移民ヲ送ッテ此移民ニドウ云フ生産品ヲ獎勵シテ作ラスヤウニ御考ニナツテ居ルカ、朝鮮ノ粟ノ移入ヲ防グコトガ出來ナイト同様ナコトニ陥リハシナイカ、斯ウ云フコトヲ心配スルノデアリマス、我ミノ考ヘテ居ル所ハ日滿經濟統制ハ滿洲デ一番良ク出來ル、例ヘバ棉花ヲ作ッテ、日本ハ海外ヨリ棉花ヲ輸入シテ居ルカラ棉花ヲウント獎勵シテ作ラス、或ハ羊毛所謂羊ヲ飼ハシテ、羊毛ヲドソノ生産シテ、濠洲ヤ亞米利加カラ入ッテ來ルモノヲ防グトカ、若クハ早く「パルプ」工場ヲ起シテ二千八百萬町歩ノ大森林ヲ利用シテ「パルプ」ヲ作ッテ「パルプ」ヲ輸入ヲ驅逐シ、且ツ何カノ場合ニ之ガ綿布ノ原料トモナリ或ハ人絹ハ勿論ノコト、此人造羊毛ノ原料トナル、斯ウ云フモノヲ早く獎勵シテ作ル、兎ニ角日滿經濟ニ付テ、有無相通ズルト云フ大原則ニ基イテ、統制ヲシテ行カナケレバナラヌノデヤナイカト感ゼラレルノデアリマス、是等ニ付テ拓務省ノ此食料品ニ對スル經濟統制ハドウ云フ根本方針デ御進ミニナツテ居ルカ伺ヒタイ

ト云フ意味デ申上ゲク意味デハナイノデアリマス、此場合ニ依リマスルト云フト、是ハ對滿洲國關係ニ於テ多少向フニ迷惑ヲ掛ケテモ已ムヲ得ナイト云フ氣持ハ有ッテ居ル、唯併シ粟ハ全然滿洲ト朝鮮ノミノ關係デアツテ、之ヲ非常ニ急激ニ上ゲルト云フトニナリマスルト云フト、滿洲ノ農民ハ現在ハ矢張り非常ニ困ッテ居ルヤウナ状態デアリマシテ、現ニ大豆ガ現在非常ニ安クテ困ッテ居リ、又今年ノ如キハ粟モ増産デ向フ自身モ餘程供給過剩ニ惱ンデ居ルヤウナ情勢デアリマス、向フモ非常ニ矢張り困ル、之ガ單純ナル外國デアリマスレバ、是ハマア日本トシテ米穀需給ノ關係カラ見テ粟ノ稅率ヲ場合ニ依ッテハウント引上ゲルカシテ輸入ノ禁止ヲスルノモ已ムヲ得ヌカト思ヒマスガ、相手ガ滿洲國デアリマスル以上ハ外ノ外國ト違ッテ餘程特別ノ考慮ヲシナケレバナナルマイト云フ意味デ申上ゲタノデアリマス、絶對ニ將來之ヲ上ゲルノハイカヌト云フ意味デ申上ゲタ次第デヤゴザイマセヌ、ソレカラ一般的ノ日滿經濟關係ニ於キマスル農産物ノ地位ニ付テノ御話デアリマシタガ、大體御説ハ殆ド同感ニ考ヘテ居リマス、別ニ違ッタ意見モナイノデアリマシテ、御話ノ移民ノ如キハ内地人ノ移民ハマ

○政府委員 北島謙次郎君 先程私ハ粟ノ關稅ニ付テ、對滿洲國ノ關係ヲ考慮シナケレバナラヌト云フコトヲ申上ゲマシタノハ、必ズシモ粟ノ稅率ヲ絶對ニ上ゲテハイカヌ

ト云フ意味デ申上ゲク意味デハナイノデアリマス、此場合ニ依リマスルト云フト、是ハ對滿洲國關係ニ於テ多少向フニ迷惑ヲ掛ケテモ已ムヲ得ナイト云フ氣持ハ有ッテ居ル、唯併シ粟ハ全然滿洲ト朝鮮ノミノ關係デアツテ、之ヲ非常ニ急激ニ上ゲルト云フトニナリマスルト云フト、滿洲ノ農民ハ現在ハ矢張り非常ニ困ッテ居ルヤウナ状態デアリマシテ、現ニ大豆ガ現在非常ニ安クテ困ッテ居リ、又今年ノ如キハ粟モ増産デ向フ自身モ餘程供給過剩ニ惱ンデ居ルヤウナ情勢デアリマス、向フモ非常ニ矢張り困ル、之ガ單純ナル外國デアリマスレバ、是ハマア日本トシテ米穀需給ノ關係カラ見テ粟ノ稅率ヲ場合ニ依ッテハウント引上ゲルカシテ輸入ノ禁止ヲスルノモ已ムヲ得ヌカト思ヒマスガ、相手ガ滿洲國デアリマスル以上ハ外ノ外國ト違ッテ餘程特別ノ考慮ヲシナケレバナナルマイト云フ意味デ申上ゲタノデアリマス、絶對ニ將來之ヲ上ゲルノハイカヌト云フ意味デ申上ゲタ次第デヤゴザイマセヌ、ソレカラ一般的ノ日滿經濟關係ニ於キマスル農産物ノ地位ニ付テノ御話デアリマシタガ、大體御説ハ殆ド同感ニ考ヘテ居リマス、別ニ違ッタ意見モナイノデアリマシテ、御話ノ移民ノ如キハ内地人ノ移民ハマ

ダ極ク僅ニ五百人見當ヲ一年ニ送ッテ居ルヤウナ情勢デアリマスガ、假ニ是ガ全部米ヲ作りマシタ所デ、恐ラク内地ノ米問題ニ影響スルヤウナ事態ヲ招來スルコトハ當分恐ラクハ考ヘル必要ハナイト思ヒマスガ、問題ハ恐ラクハ朝鮮人ニ付テノ御話カト思ヒマスガ、朝鮮ハ現在數十萬或ハ百萬ト稱セラレテ居リマスガ、滿洲國ニ現在居リマシテ、サウシテ將來モ或ハ益、滿洲方面ニ渡ル者ガ多クナリ、其結果ドウシテモ朝鮮人ノ移民トナリマス、矢張り米ヲ作ルコトニナツテ、延イテハ滿洲デ生産サレタ米ヲ内地ニ輸入スル際ニ之ヲ全然防遏スルコトガ出來ナイ、關稅モ引上ゲルコトガ出來ナイト云フヤウナコトニナリマスレバ、御話ノヤウナ非常ニ憂フベキ結果ニナルト思ヒマスケレドモ、是ハ現在ニ於キマシテモ米自體ニ付キマシテハ矢張り日本自身自身外國カラノ輸入ハ禁止シテ居リマシテ、是ガ滿洲ノ米ガ現在ハ百數十萬石ト思ヒマスガ、ソレガ五百萬石トナリ千萬石ニナツテ、而モソレガ日本ヲ消費地トシテサウ云フ風ニ増産デモサレルト云フコトニナリマスレバ、是ハ餘程考物ダト思ヒマス、併シ遠キ將來、二十年、三十年ノ先キニナリマスレバ兎モ角ト致シマ

シテ、差當リ現在ニ於キマシテ滿洲ニ於テソレ程米ガ非常ニ増産ニナツテ、ソレガ日本ノ方ニ累ヲ及ボスヤウナコトハ、マア觀念論トシテハ兎モ角、實際問題トシテ、サウ云フコトハ殆ド考ヘル必要ハナイデハナイカ、又假ニサウ云フコトニナリマスレバ、ソレハ日本トシテ現在ノヤウナ米穀ノ需給狀況ガ續キマス以上ハソレハ適當ノ對策ヲ講ズルト云フコトガ必要デアリ已ムヲ得ヌカト考ヘテ居リマスガ、是ハ實際問題ト致シマシテハ御話ノヤウナ事態ハ現在ノ事態デハ考ヘラレマセヌシ、又二十年、三十年先キニナリマスレバ、現在コソ日本ハ米ノ供給ノ過剩ニ惱ンデ居リマスケレドモ、其際ニナリマスレバ人口ノ増加其他ニ依ッテ寧ロ供給不足ヲ憂フルヤウナコトニナル可能性ガ大イニアリハシナイカト云フ風ニ私ハ考ヘマシテ、少クとも其米ノ問題ニ付テ今カラ日滿兩國ノ關係ヲソレ程心配シ、殊ニ内地人ノ移民ノ問題ニ付キマシテハ、殆ド心配ノ必要ハナイノデハナイカ、マア朝鮮人ノ問題ニシマシテモ矢張りソレ程心配ノ點ハナイノジヤナイカト考ヘテ居リマス

○三井清一郎君 内地カラ移民ヲ送ル、朝鮮カラ滿洲ヘ入り込ムト云フヤウナコトヲ私ハ決シテ彼是レ考ヘテ居ルノデヤナイノ

デス、ドシノヤッテ殆ド滿洲ノ半分、或ハ三分ノ二ノ人口ヲ日鮮人デ充タスコトモ結構デアリマス、唯拓務省トシテ是カラ十年、二十年先キハドウデアラウカ、今實際的ニサウ云フコトハ起ラヌト云フノデハ、私ハ遠キ將來ヲ達觀シク對策ガ茲ニ立タヌヤウニ思ッテ、今滿洲ト斯ウ云フ關係ニアル場合ニ於テ、日滿ノ經濟統制ノ基礎的條件ト云フモノハ確立シテ居ナケレバナラヌト、斯ウ考ヘタカラ御分リデアッタナラバ御答辯ヲ願ツタデアリマスガ、併シ是レ以上ハ拓務大臣若クハ總理大臣ニ聽クヨリ仕方ガアリマセヌ、私ハ質問ヲ打切りマス

○委員長(子爵青木信光君) 如何デゴザイマセウカ、大分時間モ遅クナリマシタガ、マダ參考書類モ參ルモノガアリマスカラ、今日ハ是デ延シマシテ、明日開會スルコトニ致シテハ如何デゴザイマセウカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(子爵青木信光君) ソレデハ明日ハ午前十時ヨリ開會イタクシマス、是ニテ散會イタクシマス

午後四時五十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵青木 信光君  
副委員長 男爵稻田 昌植君

- |      |                  |
|------|------------------|
| 委員   | 侯爵大隈 信常君         |
|      | 侯爵中御門經恭君         |
|      | 伯爵有馬 頼寧君         |
|      | 子爵片桐 貞央君         |
|      | 子爵綾小路 護君         |
|      | 三井清一郎君           |
|      | 内田 重成君           |
|      | 上山滿之進君           |
|      | 伊澤多喜男君           |
|      | 男爵福原 俊丸君         |
|      | 男爵淺田 良逸君         |
|      | 赤池 濃君            |
|      | 長岡隆一郎君           |
|      | 松本 眞平君           |
|      | 絲原武太郎君           |
| 國務大臣 | 總理大臣 子爵齋藤 實君     |
|      | 農林大臣 後藤 文夫君      |
| 政府委員 | 大藏書記官 加屋 興宣君     |
|      | 農林政務次官 子爵織田 信恒君  |
|      | 農林省米穀部長 荷見 安君    |
|      | 拓務省殖産局長 北島謙次郎君   |
|      | 朝鮮總督府政務總監 今井田清徳君 |
|      | 臺灣總督府總務長官 平塚 廣義君 |
|      | 臺灣總督府財務局長 岡田 信君  |

昭和九年三月二十五日印刷

昭和九年三月二十六日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局